

かごしま

2026年度

企業版ふるさと納税対象プロジェクト集

KAGOSHIMA
CORPORATE
DONATION
PROGRAM
2026



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Kyushu FG 九州フィナンシャルグループ

Kagoshima Bank 鹿児島銀行

共創で、未来を動かす。

企業の想いと鹿児島の可能性をつなぎ、
持続可能で豊かな社会の実現を目指します。



株式会社 鹿児島銀行
代表取締役頭取
碇山 浩美

鹿児島銀行は、「地域貢献」を企業理念に掲げ、地域に根ざす金融機関として、鹿児島の未来、そして地域社会の持続的な発展に真摯に向き合い、新たな価値の創造に挑戦し続ける存在でありたいと考えております。

このたびは、「2026年度かごしま企業版ふるさと納税対象プロジェクト集」をご高覧いただき、誠にありがとうございます。

本プロジェクト集は企業版ふるさと納税制度の活用を通じて、企業の皆さまと鹿児島県内の地方公共団体をつなぎ、新たな価値共創へと結びつけたいとの思いを込め、発刊いたしました。2016年の制度開始以来、企業の皆さまによる活用は年々広がりを見せております。一方で、制度の仕組みや活用方法については、十分に認知されていない面もございます。弊行といたしましては、本冊子の発刊を契機に、制度の周知やご相談の機会づくりに努め、企業の皆さまの思いと地域のニーズを結びつけるお手伝いができればと考えております。

本プロジェクト集が、企業の皆さまにとって鹿児島への理解と関心をより深めるきっかけとなり、地域活性化に向けた新たな連携や取り組みへとつながるとともに、鹿児島の未来をともに築いていく一助となれば幸いです。

鹿児島銀行
Kagoshima Bank



グループ会社

鹿児島銀行グループは、地域・お客さまとともに歩んでまいります。

株式会社 鹿児島銀行
普通銀行業（預金・貸出・為替 など）

〒892-0828　鹿児島市金生町6番6号
TEL 099-225-3111（代表）

株式会社 九州経済研究所
産業・経済・金融・地域開発に関する
調査研究業務・経営コンサルティング など

〒892-0822　鹿児島市泉町3番3号
TEL 099-225-7491

鹿児島保証サービス 株式会社
住宅ローン・消費者ローンの債務保証業務 など

〒892-0822　鹿児島市泉町3番3号
TEL 099-224-2760

株式会社 鹿児島カード
クレジットカード業務・信用保証業務・
金銭貸付業務 など

〒892-0822　鹿児島市泉町3番3号
TEL 099-223-2011

鹿児島リース 株式会社
総合リース業務・ファクタリング業務 など

〒892-0822　鹿児島市泉町3番3号
TEL 099-225-2455

株式会社 かぎん共創投資
投資事業有限責任組合（ファンド）の組成、
運営業務 など

〒892-0828　鹿児島市金生町6番6号
TEL 099-201-3716

パステムソリューションズ 株式会社
ICTソリューション業務 など

〒892-0836　鹿児島市錦江町9番25号
TEL 099-223-8261

かぎんオフィスビジネス 株式会社
担保評価業務・労働者派遣業務 など

〒892-0822　鹿児島市泉町3番3号
TEL 099-216-5080



Payどん の問い合わせは 鹿児島銀行 デジタルサポートプラザ ☎ 0120-947-230
（受付時間　平日9:00-17:00）

目 次

はじめに

頭取挨拶 …… 2

グループ会社 …… 3

目次・カテゴリー索引 …… 4

企業版ふるさと納税とは …… 6

企業版ふるさと一番とは …… 7

掲載自治体（五十音順）

姶良市 …… 8

阿久根市 …… 10

奄美市 …… 12

出水市 …… 14

いちき串木野市 …… 16

鹿児島市 …… 18

鹿屋市 …… 20

喜界町 …… 22

肝付町 …… 24

霧島市 …… 26

薩摩川内市 …… 28

さつま町 …… 30

志布志市 …… 32

曽於市 …… 34

垂水市 …… 36

長島町 …… 38

枕崎市 …… 40

南九州市 …… 42

南さつま市 …… 44

湧水町 …… 46

和泊町 …… 48

ご案内

企業版ふるさと一番 寄附手順 …… 50

メモ欄 …… 54

事業承継信託 …… 55

カテゴリー索引

■ 取組内容の分類から、掲載自治体を探せます。（数字は掲載ページ）

01 産業振興・企業誘致
奄美市 12　出水市 14　鹿屋市 20　肝付町 24　薩摩川内市 28
志布志市 32　曽於市 34　垂水町 36　長島町 38　南九州市 42
湧水町 46

02 過疎対策・移住定住
霧島市 26　薩摩川内市 28　長島町 38　湧水町 46

03 地域活性化
姶良市 8　阿久根市 10　いちき串木野市 16　鹿児島市 18　肝付町 24
枕崎市 40　南さつま市 44　和泊町 48

04 児童福祉
阿久根市 10　奄美市 12　いちき串木野市 16　鹿児島市 18　霧島市 26

05 災害対策・防災
喜界町 22

06 観光客の誘致・地域PR
志布志市 32　和泊町 48

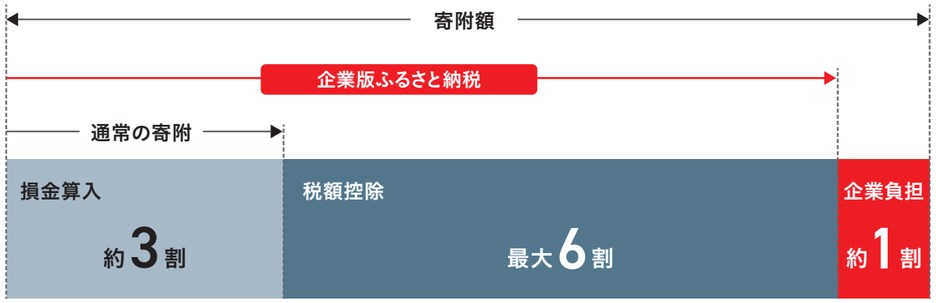
08 雇用維持・創出
さつま町 30

09 まちづくり
姶良市 8　出水市 14　鹿屋市 20　喜界町 22　曽於市 34
垂水市 36　南九州市 42　南さつま市 44

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、**最大で寄附額の約9割が軽減**され、実質的な企業の負担が約1割まで軽減されます。



【例】　1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

①法人住民税：寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
②法人税　　：法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。但し、寄附額の1割を限度（法人税額の5%が上限）
③法人事業税：寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

※ 企業によって軽減額等は異なるため、詳しくはお客様の顧問税理士へご相談ください。

出典：「企業版ふるさと納税リーフレット」（内閣府 地方創生推進事務局） https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/portal/pdf/R6panph.pdf をもとに（株）九州みらいCreation作成

企業版ふるさと納税を活用するメリット

- 社会貢献企業としてのPR SDGsの達成 など
- 地方公共団体との新たなパートナーシップ構築
- 縁のある地を応援 寄附を通じて恩返し

制度活用にあたっての留意事項

- 1回あたり10万円以上の寄附が対象
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止
  例：× 寄附の見返りとして補助金を受け取る　　× 有利な利率で貸付をしてもらう
- 本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象外
  ※ この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します
  例：A県B市に本社が所在する場合は、A県とB市への寄附は本制度の対象外
- 次の都道府県、市区町村については、本制度の対象外
  Ⅰ）地方交付税の不交付団体である都道府県
  Ⅱ）地方交付税の不交付団体であって、その全域が地方拠点強化税制における地方活力向上地域以外の地域に存する市区町村※
  ※首都圏整備法で定める既成市街地・近郊整備地帯 など



企業版ふるさと一番とは



ふるさと一番について	
サービス名	ふるさと納税ポータルサイト「ふるさと一番」
サービス内容	ふるさと納税のインターネットでの寄附申込
事業目的	・ふるさと納税制度推進による地域の魅力発信 ・自治体様との連携強化および地域における課題解決支援
サービス開始	2018年12月





サイト運営会社概要	
商号	株式会社 九州みらいCreation
本社所在地	熊本市西区春日1丁目12番3号（KFGビル6F）
事業内容	・ECモール事業（ECモール：よかもーる／ふるさと納税サイト：ふるさと一番） ・海外ビジネス支援事業
株主	株式会社九州フィナンシャルグループ 100% ※九州フィナンシャルグループは、2015年10月に肥後銀行と鹿児島銀行の共同株式移転により設立した銀行持株会社です
会社設立	2023年4月

姶良市

アイラシ

AIRA CITY



米丸 まき子 市長



総人口	78,127人
男	36,744人
女	41,383人
世帯数	39,154世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	14.2%
15～64歳	55.4%
65歳以上	30.4%

鹿児島県の中央に位置する姶良市は、桜島を望む豊かな自然と交通アクセスの良さを兼ね備えた活力あるまちです。未来を担う子どもたちの育成や産業振興、地域の魅力向上に加え、「ウェルネスシティ」の実現に向けた取組を進めています。企業版ふるさと納税を通じ、皆様とともに姶良市の未来を創ってまいりたいと考えておりますので、温かいご支援をお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

【商店街活性化事業】働くなら“あいら”事業

商店街の空き店舗等を活用した新規開業を支援し、地域経済の活性化と魅力ある商店街づくりを推進しています。家賃補助や商工会と連携した経営支援により、創業者の負担軽減と事業の定着を図るとともに、新たな雇用や賑わいを創出します。地域に根差した持続可能で活力ある商店街の形成を目指します。



カテゴリー09 まちづくり

【公共交通対策事業】住むなら“あいら”事業

高齢者や学生をはじめ、誰もが安心して利用できる持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指しています。人口減少やライフスタイルの変化に対応しながら、交通事業者や地域との連携を強化し、公共交通サービスの維持・充実に取り組みます。地域の移動手段を確保することで、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。



姶良市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 働くなら “あいら”

新しい時代（Society5.0）が到来するなか、本市の地域特性や特徴的な資源、ＩＣＴ等の先端技術を活かして、地場産業の育成と新たな産業創出の支援を図ります。また、年齢や性別に関係なく、仕事に就くことを望むすべての方が安心して就労でき、働き続けられる環境をつくりだし地域経済の活性化を図ります。さらに、地域資源の地産地消を進め地域経済の好循環を創り出します。

基本目標2 訪れるなら “あいら”

地域の魅力と地域資源を生かした地域ブランディングの確立を行い、訪れた人にとって満足度の高い観光地づくりを推進します。また、居住地として、就労地として、交流する場として、そして学びの場として、まちの魅力をまるごとシティプロモーションすることにより、関係人口の創出と交流人口の拡大を図り、移住・定住人口の増加を目指します。

基本目標3 子育てなら “あいら”

一人一人の多様な生き方や価値観、意思を尊重しつつ、個々人の結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望がかなう社会を創るとともに、出会いから子育てに至る期間において切れ目のない支援に取り組みます。「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みにあるように、子ども館「ちるどん」を子育ての拠点として、子どもの健やかな成長に向けた子育て支援や交流拠点としての環境づくりを推進します。また、新しい時代の流れを力とし、未来を拓く人材を育てる教育を推進します。

基本目標4 住むなら “あいら”

県央に位置する地理的優位性・利便性、そして発展可能性を最大限に活かしながら、安全で安心して暮らし続けることができる基盤づくりを行い、持続可能なまちづくりを推進します。また、市民一人一人が、生き生きと自分らしく暮らし続けることができるように、保健、医療、介護、福祉サービスの充実と連携を推進し、性別や年齢、障がいの有無や国籍に関わらず、誰もが居場所と役割を持ち生涯にわたって活躍できる地域づくりを進めます。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額100万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（寄附額100万円以上）

- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト1

訪れるなら〝あいら〟

人々が行き交う魅力あふれる県央都市あいら



地域の魅力や地域資源を生かした観光振興をはじめ、関係人口・交流人口の創出拡大や広域的な連携の推進に取り組んでいます。主な事業として、スポーツキャンプ誘致事業では、市内運動施設を活用し国内外トップレベルのキャンプを誘致することで、スポーツを通じた交流促進を図っています。また、スポーツ施設等整備事業では、施設や備品の更新、空調整備、大会運営や地域連携を進め、スポーツを核とした地域活性化を推進しています。

数値目標 …… 3年間の人口の社会動態数 **1,818** 人増加

具体的な **寄附のメリット**

- ●10万円～ 市HPへの記事掲載
- ●100万円～ 感謝状贈呈・感謝状贈呈式を開催・市報へ記事掲載

重点プロジェクト2

子育てなら〝あいら〟

誰もが安心していきいきと暮らし、住み続けたくなる県央都市あいら



結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制の強化をはじめ、仕事と子育てを支える地域づくりや、地域全体で支える協働の子育てを推進しています。主な事業として、子ども館運営事業では、全天候型施設「ちるどん」を拠点に、誰もが安心して子育てできる環境の充実を図っています。また、小・中学校教育振興事業では、教育環境の充実を進め、未来を担う子どもたちの生き抜く力と郷土愛の育成に取り組んでいます。

数値目標 …… 3年間の年少人口増加数 **200** 人増加

具体的な **寄附のメリット**

- ●10万円～ 市HPへの記事掲載
- ●100万円～ 感謝状贈呈・感謝状贈呈式を開催・市報へ記事掲載

阿久根市

アクネシ

AKUNE CITY



西平 良将 市長



総人口	17,501人
男	8,334人
女	9,167人
世帯数	9,486世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.3%
15～64歳	46.4%
65歳以上	44.3%

阿久根市は鹿児島県の北西部に位置し、東シナ海を望む美しい海岸線や、ぼんたん等の柑橘類、新鮮な魚介類など「食」に恵まれた自然豊かなまちです。本市では、この魅力ある地域資源を活かし、農林水産業の振興や移住・定住の促進、子育て環境の充実など、持続可能で活力あるまちづくりを進めています。企業の皆様との共創を通じて、阿久根の未来を共に切り拓いてまいりたいと存じます。温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

にぎわい拠点の創出

「行ってみたくなる」魅力的なまちを目指し、青果市場跡地の新たな活用を検討しています。市外からも多くの人が訪れ、阿久根とのつながりが生まれる交流拠点として再生させるため、施設整備や空間デザイン、集客イベントの企画など、民間企業の皆様が持つ自由な発想と専門的なノウハウを求めています。



カテゴリー04 児童福祉

スポーツで未来を育む

スポーツは運動能力の向上だけでなく、仲間との協働を通じて子どもの豊かな心を育む大切な要素です。本市の総合運動公園を生かし、子どもたちがワクワクしながら体験できる機会をつくりたいと考えています。未来を担う子どもたちの成長を後押しするプログラムの企画・運営にお力をお貸しください。



阿久根市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 阿久根に産業の成長をつくる。
人材・人手不足等に伴う既存事業の市場縮小など、厳しい経営環境の中でも様々な事業に挑戦する市内企業等を積極的に支援し、市内の事業者を守りつつ、市内にこれまでなかった新たな産業を創出します。

基本目標2 阿久根に人の流れをつくる。
人口の社会増の実現に向け、本市への移住・定住の第一歩として、多くの人に本市の魅力を発信し、興味をもっていただくとともに、地域力の向上を図ります。

基本目標3 阿久根に家族の夢をつくる。
若年女性の人口が減少傾向にある中、希望する方が安心して結婚・出産・子育てできる切れ目のない支援体制を構築するとともに、将来を担う人材の育成を図ります。

基本目標4 阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。
高齢者、介護、障がいの個々の枠組みでなく、一人ひとりがお互いを尊重し、助け合い、孤立することなく、安心して地域で暮らすことができる社会を構築します。

基本目標5 阿久根に安全で快適な環境をつくる。
2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向け、限りある資源を生かし、再生可能エネルギーの普及促進、社会インフラの維持・整備などを進めていきます。

基本目標6 阿久根にデジタル生活基盤をつくる。
年齢・障がいの有無・国籍等にかかわらず、「誰一人取り残さない、市民にやさしいデジタル化」の実現に向けた環境づくりを進めます。

寄附御礼

贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）
感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
自治体広報誌掲載（寄附額100万円以上）
HP掲載（寄附額10万円以上）

紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）
功労者表彰推薦（寄附額100万円以上）
視察受入
その他

重点プロジェクト1

シティプロモーション事業

アイドル×推し活で「行きたくなるまち」へ



現在の観光消費が「通過点」にとどまっている課題を解決し、目的地として選ばれる「行ってみたくなるまち」への変革を目指すプロジェクトです。旅行消費額の割合が高く、SNSなどでの情報発信意欲が高い若年層や女性を主なターゲットに設定しています。国内の人気アイドルと連携し、「推し活」の熱量や共感を通じて地域の観光資源や特産品の魅力を全国へ発信することで、認知度向上と交流人口の増加を図ります。

総事業費 …… 3,000 万円

具体的な寄附のメリット

- ●10万円～ 市HPへの掲載・感謝状贈呈
- ●100万円～ 感謝状贈呈式の開催（市長出席）、市報への掲載・市民表彰式への推薦

重点プロジェクト2

地域マイクログリッド事業

平時は青空を守る力に、災害時は命を守る灯りに。



2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市役所と番所丘公園に太陽光発電施設を設置する地域マイクログリッド事業に取り組んでいます。本事業では、市役所をはじめとする6つの施設を自営線でつなぐことで、平常時の給電を通じた二酸化炭素排出量の削減を図ります。さらに、災害時の大規模停電に備える給電体制を構築し、地域の脱炭素化と防災力の向上を両立する災害に強いまちづくりを進めていきます。

総事業費 …… 650 万円

数値目標 …… CO_2削減量：670t-CO_2

具体的な寄附のメリット

- ●10万円～ 市HPへの掲載・感謝状贈呈
- ●100万円～ 感謝状贈呈式の開催（市長出席）、市報への掲載・市民表彰式への推薦

奄美市

アマミシ

AMAMI CITY



安田 壮平 市長



総人口	39,130人
男	18,896人
女	20,234人
世帯数	23,210世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	11.9%
15～64歳	52.1%
65歳以上	36.0%

奄美市が所在する奄美大島は、2021年７月に世界自然遺産に登録され、今年で5周年を迎えます。これまで、本場奄美大島紬や奄美黒糖焼酎などの地域資源を活かした地場産品の振興や、世界自然遺産登録を契機とした観光振興を推し進め、「しあわせの島」の実現に向け、様々な地方創生施策を展開してまいりました。今後も企業版ふるさと納税を通じて皆様のお力添えを賜りながら、これまで以上に魅力あふれる奄美市づくりに向けた施策を進めて参りたいと存じます。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額200万円以上）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

食と農の総合戦略



令和７年度に策定した奄美市「食と農の総合戦略」に基づき、奄美独自の自然や歴史、文化と密接な関わりのある「食と農」を守り、育み、未来へ継承していくための取り組みを行う。令和８年度は多くの市民の皆さんと「食と農」へ触れる機会づくりに取り組みます。

①市民が「食と農」へ触れる機会づくり
②市民と生産者の「食と農」を通した関係づくり
③地域全体が「食と農」に触れる機会づくり　など

カテゴリー04 児童福祉

小中高校生への出場補助



離島地域におけるスポーツ活動や文化活動において、本土で行われる大会への交通費の負担が大きいことから、子供たちが安心して各種大会へ臨めるよう、小・中・高校生の大会（九州大会以上）の出場補助を実施します。

令和7年度実績
【スポーツ】九州大会（31件）、全国大会（21件）
【文化・芸術】九州大会（2件）、全国大会（6件）

奄美市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1　みんなで生活満足度向上を目指します

市民一人ひとりの生活満足度を向上させ、地域住民や UI ターン者が住みたい 、住み続けたいと思えるしまづくりを目指します。
○子育て世代が抱える悩みなどを解消し、子育てしやすい環境の整備に取組みます。
○医療や福祉、防災など市民が安心に生活するための定住環境の整備に取組みます 。
○空き家対策などの推進による住まいの確保や「しまに住みたい」という想いをもつ移住者への移住支援に取り組みます。

基本目標2　成長の源泉である元気な経済活動を目指します

観光産業の振興をはじめとする各分野への支援を充実させることで、企業の活動が活発になり市民の収入が増え、地域経済が好循環していくしまを目指します。
○地域内経済循環を促進し、地域内の「稼ぐ力」を高めることで給与環境・就業環境の向上に努めます。
○各分野での人材不足を補うため、効率化を見据えたデジタル人材の育成を推進するとともに、デジタル技術の導入による社会課題解決に取り組みます。
○働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できるよう社会の実現に向けて行政と民間が協力して取り組みます。
○住民の生活水準を維持・向上させ、公共サービスの効率化を図ります。

基本目標3　未来を担う次世代へ『しまの誇り』を継承することを目指します

しまの歴史や文化、貴重な自然を次世代に受け継いでいくため、学習機会の提供や継承の場となる地域活動の再活性化・再構築に 取組み、将来は「しまに帰ってきたい」と思う子どもたちが増えていくしまを目指します。
○子どもたちが自然や歴史、文化を学ぶ機会を創出し、しまへの愛着を高める取組を推進します。
○世界自然遺産にふさわしいしまになるように自然を守る制度や仕組みづくりに取組みます。
○市民と行政が協働して、集落や地域の活性化に取り組みます。
○公共施設の再編と有効な活用方策について検討します 。

重点プロジェクト１

世界自然遺産推進事業

世界自然遺産の島を将来の世代に引き継いでいくプロジェクト



奄美市が所在する奄美大島は2021年７月に世界自然遺産に登録され、今年で５周年を迎えます。自然環境を保全し希少な動植物を守ることが重要なのはもちろんですが、奄美では人と自然が共生する中で生まれた文化や景観、暮らしが持続することで自然も共に守られるという考え方も大切にされています。人類共通のかけがえのない財産を将来の世代に引き継いでいくために、環境保全や情報発信、環境・文化教育に取り組んでいます。

■主な事業
希少野生動植物保護事業、世界自然遺産登録５周年事業、子どもたちの環境学習・体験に関する事業

総事業費 …… **8,900** 万円

数値目標 …… アマミノクロウサギのロードキル発生件数　R5：**147** 件 → R10 ：**73** 件

寄附のメリット（具体的な）

●200 万円～	感謝状贈呈式の開催
●100 万円～	感謝状の送付
●50 万円～	お礼状、実績報告書の送付
●10 万円～	市 HP での紹介（企業 HP リンク掲載）

重点プロジェクト２

本場奄美大島紬振興費事業（産地再生計画）

本場奄美大島紬の薫る街づくりプロジェクト



本場奄美大島紬は、1300余年の歴史を持つ高級絹織物であり、そのアート性は世界に類を見ない精巧な織りと染めにあるといわれています。生産反数が減少する中、産地の振興に向けて、本場奄美大島紬産地再生計画に基づく各種事業を実施しております。伝統工芸の後継者育成に取り組む事業者への支援を通じて、産地の技術継承の「核」となる人材の育成、本場奄美大島紬産地の振興に向けた販路開拓・新商品開発・在庫活用といった諸事業の総合的推進、島内外での認知度向上・需要喚起を図るためのPR事業を展開しております。

総事業費 …… **2,400** 万円

数値目標 …… 25歳～49歳の人口 → R9年度 ：**9,657** 人

寄附のメリット（具体的な）

●200 万円～	感謝状贈呈式の開催
●100 万円～	感謝状の送付
●50 万円～	お礼状、実績報告書の送付
●10 万円～	市 HP での紹介（企業 HP リンク掲載）

IZUMI CITY



椎木伸一 市長



総人口 50,301人
男 23,856人
女 26,445人
世帯数 25,822世帯

〈人口構成比〉
15歳未満 16.9%
15～64歳 48.1%
65歳以上 35.0%

出水市は、鹿児島県と熊本県の県境に位置し、ラムサール条約湿地に登録されている「出水ツルの越冬地」や、薩摩藩の武家屋敷群「出水麓（国の伝統的建造物群保存地区）」もあり、ツルと歴史のまちとして知られています。お寄せいただいた御寄附は、誰ひとり取り残さず、誰もが夢と希望を持ちいきいきと安心して暮らせる美しい、住みたいまち「出水市」を実現するための各種事業へ活用させていただきます。本市へ温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

スマート農畜産業の推進と環境対策

本市では、農業従事者の高齢化や担い手不足が進む中、生産性維持と地域農業の持続化が課題となっています。そのため、ＩＣＴや自動運転技術、データ活用等を取り入れたスマート農業を推進し、省力化や効率化、高品質化を図ることで、次世代につながる稼げる農業の実現を目指しています。



カテゴリー09 まちづくり

エネルギー体制の構築

世界的に脱炭素社会への対応やエネルギー価格高騰への備えが課題となる中、本市でも地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を推進しています。太陽光などの再エネ活用を進めることで、環境負荷の低減と持続可能な地域づくり、災害時にも強いエネルギー体制の構築を目指します。



出水市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **住みたいまち・行きたいまちの創造**
～魅力的な地域・人の流れをつくる～
移住・定住促進や観光振興、関係人口の拡大を進め、出水市に「住みたい・訪れたい・関わりたい」と思われるまちづくりを進めます。

基本目標2 **妊娠・出産・子育て支援**
～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～
結婚・妊娠・出産から子育て、教育まで切れ目のない支援を行い、安心して子供を産み育てられる環境を整えます。また、子育てと仕事を両立しやすい環境づくりを進め、若い世代の希望の実現を支援します。

基本目標3 **地域産業の発展支援**
～地方に仕事をつくる～
企業誘致、創業支援、人材確保などによる地域産業の振興や、農林水産業・商工業の付加価値向上を図ることで、地域経済の好循環を生み出し、安定した雇用と所得を確保できる環境を整えます。

寄附御礼

- ＨＰ掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
- 贈呈式開催（御希望に応じて）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）

重点プロジェクト１

地域活性化施設（道の駅）整備事業

くらしの安心



南九州西回り自動車道の整備に合わせ、本線から直接アクセスできる地域活性化施設（防災道の駅）、接続する各市道及び関連する広域農道を整備します。地理的特性を活かし、地域全体の観光交流・産業振興などの地域活性化を図る「地方創生拠点施設」となるとともに、大規模災害や家畜伝染病発生時には「防災・防疫拠点施設」として活用します。

事業手法 …… DBO方式
契約金額 …… 設計・工事監理／建設工事 約23億円　維持管理・運営（15年間）約5億円
数値目標 …… 年間利用者数　70万人　　年間売上　7.4億円

具体的な 寄附のメリット
- 感謝状贈呈・市 HP への記事掲載
- 道の駅内に銘板設置（希望確認の上）

重点プロジェクト２

子育て支援・児童福祉の充実

こどもの安心、いのちの安心



安心して妊娠・出産・子育てができるよう子育てに関する情報を提供し、経済的負担の軽減につながる支援に取り組むとともに、仕事と家庭の両立ができるよう、多様化した保育ニーズに対応した保育の提供に努めます。また、子育て世帯の孤立や児童虐待の防止のために、相談体制の充実を図ります。

数値目標 ……子育て支援環境や児童福祉が整っていると思う割合
R4 82.7%　目標 85%

具体的な 寄附のメリット
- 感謝状贈呈・市 HP への記事掲載

いちき串木野市

イチキクシキノシ

寄附御礼

- ＨＰ掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上・または3年以上連続）
- 贈呈式開催
- 感謝状贈呈
- 自治体広報誌掲載
- ＨＰ掲載
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦



中屋謙治 市長



- 総人口 25,169人
- 男 11,961人
- 女 13,208人
- 世帯数 13,059世帯

〈人口構成比〉

- 15歳未満 10.1%
- 15～64歳 50.0%
- 65歳以上 39.9%

いちき串木野市は、豊かな自然や食、人の温かさに恵まれたまちです。東シナ海に面した美しい景観や地域に根付く産業・文化など、多くの魅力を有しています。
本市では、若い世代が希望を持って挑戦できる環境づくりや多くの人が集い交流できる魅力あるまちづくりを進めています。
企業の皆様との連携を力に変えながら、地域の未来を担う人材の育成と、持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。
本市の取組にご理解いただき、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

公共施設跡地の活用

人口減少や少子化によって、小中学校の統廃合や公共施設の用途廃止等により生じる公共施設跡地の利活用が課題となっており、将来的な財政負担や平準化の観点から民間事業者による跡地活用を検討しています。特に、学校跡地は地域住民にとって身近な交流の場であり、地域活動の拠点としての役割を担ってきた場所であることから、地域の活性化やにぎわいの創出につながる活用を図っていきます。



カテゴリー04 児童福祉

安心して子育てできるまちづくり

子育て支援策として3つの無償化（学校給食費・子ども医療費・保育料）など、さまざまな支援に取り組んでいます。一方で、本市には産科や小児科専門医の病院がないといった課題もあることから、結婚・出産・子育てまで一貫した、一層の支援により安心して子育てできる環境整備を進めます。



いちき串木野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1 住み続けられるまち

人口減少や少子高齢化に対応するためには、市としての生活機能を確保し、「まち」としてのあり方を情勢に合わせて見直す必要があるため、経済・雇用面では、域外からの所得流入に努めつつ、地産地消を推進し、地域経済循環の向上を図ります。また、それを支える労働・雇用の質と量を確保するほか、ＩＣＴ等を活用して産業活動を支援します。

基本目標2 子どもの未来を育むまち

次世代に「まち」を受け継いでいくためには、若者の子どもを持ちたいという希望をかなえ、安心して子育てができる環境をつくるとともに、子どもが学び、成長していく環境を用意することが大切です。子育て中の世代の意見をしっかりと受け止めた、子育てしやすい、子どもが成長できると実感できる施策に取り組みます。

基本目標3 自慢できるまち

市民が市内の良いところに気づき、まちへの愛着と誇りを深め、行動し、発信していくことにより、まちのイメージを形成し、市外の人から「あのまちは面白そうだ」「訪れてよかった」と思われるまちになる施策に取り組みます。それにより交流人口や関係人口の創出を図り、まちの活力をあげ、市民が自慢できるまちを目指します。

重点プロジェクト１

チャレンジングなまち推進事業

若者が挑戦できるまちへ！



20代、30代の若者の流出に歯止めをかけるため、若い世代が、学びや多様な主体との交流を通じて、多様な働き方や自己実現のために新しいプロジェクトなどにチャレンジできる場を提供するなど、若者の挑戦を支援します。座学やフィールドワークなどを通じて地域課題等の解決に取り組むローカルイノベーターの育成と、若者が集まり、交流などを行うコミュニティの形成により、若者が成長を実感し、仲間とともに多様なキャリア形成にチャレンジできる魅力あるまちづくりに取り組みます。

総事業費 …… **10,000,000円**

数値目標 ……

ローカルイノベーター育成塾の実施を通して生まれた移住者数	1人増加
ローカルイノベーター育成塾の実施を通して生まれた関係人口数	20人増加
ローカルイノベーター育成塾を通して創業した人数	3人増加
ローカルイノベーター育成塾から生まれたプロジェクト数（創業除く）	5件増加
ローカルイノベーター育成塾の応募者の増加数	10人増加

具体的な寄附のメリット

- 10万円以上寄附で市ＨＰ掲載
- 100万円以上又は３年以上連続で感謝状贈呈

重点プロジェクト２

長崎鼻公園リノベーション事業

幅広い世代の交流拠点づくり



長崎鼻公園は、吹上浜金峰山県立自然公園の一部で、東シナ海に突き出た松の緑と海の青が美しい景観を有し、昭和39年の開設以降、多くの人々に親しまれてきました。しかし、近年では遊具施設等の老朽化等により、憩いや交流の場としての魅力が低下し、利用者が減少しています。
そのため、天候に左右されず子どもたちが遊べる屋内遊戯施設やカフェを備えたにぎわい施設や、インクルーシブ遊具の導入、多目的広場の整備など幅広い世代が集い、交流し、誰もが快適に過ごせる空間へと整備します。

総事業費 …… **202,858,000円**

数値目標 …… **利用者数**（事業開始前比）
21,960人増加（令和12年度末時点）
※令和8年10月グランドオープン予定

具体的な寄附のメリット

- 10万円以上寄附で市ＨＰ掲載
- 100万円以上又は３年以上連続で感謝状贈呈

鹿児島市

カゴシマシ

KAGOSHIMA CITY



下鶴隆央 市長



総人口 576,783人
男 268,638人
女 308,145人
世帯数 286,978世帯

〈人口構成比〉
15歳未満 13.0%
15～64歳 57.0%
65歳以上 30.0%

本市は、桜島や錦江湾に代表される豊かな自然と歴史・文化を有し、多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として発展してまいりました。社会環境が大きく変化する中、持続可能なまちづくりに向け4つの基本目標のもと取り組んでおります。お寄せいただいたご寄附は、これらの取組に活用させていただきます。皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお待ちしております。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額50万円以上）
- 贈呈式開催（寄附額100万円以上）

- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

地域の活力と豊かな雇用を育むまちづくり

地域産業の競争力強化を図るため、販路拡大や高付加価値化、新事業の創出を支援するとともに、多様な人材の確保・育成を推進します。さらに、企業立地の促進や雇用機会の拡大、デジタル技術を活用した産業振興や生活利便性の向上に取り組み、持続可能で活力ある地域づくりを進めます。



カテゴリー04 児童福祉

若者の未来と子育てを応援する環境づくり

若い世代が安心して働き、将来に希望を持って結婚・出産・子育てを実現できる社会を目指します。個人の選択を尊重しつつ、就業支援や生活支援、結婚を希望する方へのサポートに加え、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を充実させ、仕事と家庭の両立を支える環境づくりを推進します。



第２期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進プロジェクト

基本目標1 稼げるしごとで活力を「つくる」

中小・中堅企業ＤＸの推進も視野に、国内外への販路拡大支援や商品・サービス等の高付加価値化への支援など地域産業の競争力強化に取り組むほか、新事業・新産業の創出支援や人材の確保・育成に取り組み、地域産業の稼ぐ力の強化を図る。また、デジタル技術も活用しながら、雇用拡大が期待される企業立地の推進や、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めるとともに、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組む事業。

【具体的な取組】
- ●国内外での展示会や商談会等への出展等、販路拡大への支援
- ●新たな産業やサービス等の創出支援
- ●ＩＣＴを活用した新たな事業展開等の促進
- ●新規創業者等の育成支援
- ●若者等の雇用促進、就業を中断していた女性や高齢者等の再就職等の支援 等

基本目標2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

少子化の大きな要因と言われる「未婚化・晩婚化」を解消するため、デジタル技術も活用しながら、就業支援や貧困対策などにより若い世代の経済的な安定に取り組むとともに、結婚を希望する人たちに対して支援を行う。また、デジタル化の推進を図りつつ、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に努め、安心して子どもを生み育てることができ、次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを進めるとともに、仕事と子育ての両立に向けたワーク・ライフ・バランスの推進を図るなど、子育て世帯のさまざまなニーズを踏まえた施策を展開する事業。

【具体的な取組】
- ●若者の就職・起業、人材育成の促進　●出会いの機会・場の提供
- ●妊娠・出産包括支援の推進　●アプリ等を活用した母子保健の充実
- ●地域子育て支援拠点施設の運営・相談体制の充実
- ●ＡＩ等の導入による子育て世帯等の利便性向上
- ●ワーク・ライフ・バランスの推進、労働環境の整備促進 等

基本目標3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」

都市の魅力にさらなるみがきをかけるため、デジタル技術も活用しながら、オンリーワンの魅力創出、地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用、花や緑、公園緑地の充実に取り組み、個性豊かな資源の価値向上を図る。また、観光ＤＸの推進も視野に、観光客受入体制の充実や、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上により、ひとが集うまちなか環境を充実させる事業。

【具体的な取組】
- ●自然、歴史・文化、食などの魅力活用
- ●ＶＲ・ＡＲ、アプリなどを活用した魅力向上
- ●プロスポーツチームの育成支援と競技場などの施設整備
- ●まちなかのにぎわいづくり 等

基本目標4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

デジタル実装を視野に、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成や、ストックマネジメントの強化などにより、人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりを進める。また、デジタル技術も活用しながら、住民主体の地域づくりの促進や市民との協働の推進などに取り組み、市民一人ひとりが力を発揮し、互いに支え合う温もりのある地域社会を形成するとともに、国内外の都市との多彩な連携・交流を推進するとともに、移住希望者の多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進する事業。

【具体的な取組】
- ●ＩＣＴを活用した利用しやすい公共交通の推進
- ●住宅団地の魅力創出
- ●地域活動の支援、担い手の育成
- ●多文化共生の地域づくりの推進
- ●多彩な都市との連携・交流の推進
- ●移住相談・受入体制の充実　等

重点プロジェクト１

“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト



ＩＣＴ等の活用を通じて、地域への理解を深める取組を進めるほか、まちづくりについて意見交換を行う機会を設けるとともに、大学との連携による各種施策の実施等を通して、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着の心を育みます。また、デジタル技術も活用しながら、市域外からまちづくりに関心のある人材を呼び込み、継続的なつながりを持ちながら地域の課題を解決する担い手として関わりを深めてもらう取組を進めます。

総事業費 …… 16億円
大学との新規連携事業・取組数 …… 5年間で100件
首都圏等における体験機会となるイベント等への参加者数 …… 80,000人

具体的な 寄附のメリット
- ●10万円～　市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載
- ●50万円～　感謝状贈呈・市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載
- ●100万円～　感謝状贈呈式の実施（市長対応）・贈呈式についてプレスリリース・市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載

重点プロジェクト２

“デジタル技術で豊かなまち”創造プロジェクト



ＩＣＴ等を活用して、生産性の向上や業務の効率化を目指す事業者の育成・支援や、ＩＣＴ関連企業の戦略的な立地に取り組むほか、スマート農林水産業の導入を目指す生産者の育成・支援などを通して、地域産業の生産性の向上を図ります。また、教育における情報化の推進や市民サービスへのＩＣＴの活用などにより、市民生活の利便性向上を図ります。さらに、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すデジタル田園都市構想の実現に向け、デジタル基盤整備やデジタル人材の育成・確保、誰一人取り残さないための取組を進めます。

総事業費 …… 38億円
スマート農林水産業関連技術の導入件数 …… 5年間で65件
電子申請利用件数 …… 43,000件

具体的な 寄附のメリット
- ●10万円～　市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載
- ●50万円～　感謝状贈呈・市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載
- ●100万円～　感謝状贈呈式の実施（市長対応）・贈呈式についてプレスリリース・市HPへの掲載・コーポレートサイトのリンク掲載

鹿屋市

カノヤシ

KANOYA CITY



鄉原 拓男 市長



総人口 96,485人
男 46,228人
女 50,257人
世帯数 50,980世帯

〈人口構成比〉
15歳未満 13.86%
15~64歳 54.40%
65歳以上 31.74%

鹿屋市は、本土最南端へと伸びる大隅半島の中央に位置し、大隅地域の交通・経済・文化の拠点都市です。第１次産業を基幹産業とする全国有数の食料供給基地としての強みや、国立の鹿屋体育大学、日本最大級の「かのやばら園」などの独自資源を活かし、スポーツや食を核とした魅力ある観光地の形成と関係人口の創出・拡大に取り組んでいます。未来を共に創るパートナーとして、企業版ふるさと納税を通じた温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

活力ある農林水産業の振興

温暖な気候や広大な農地などの恵まれた営農環境を生かし、持続可能な「農のまちかのや」を構築するため、担い手の確保・育成、生産基盤の強化、農村環境の保全、加工・流通・販路開拓の取組を推進するほか、森林の適正管理や再造林の推進、水産業の経営基盤の強化など、魅力ある農林水産業の振興を図ります。



カテゴリー09 まちづくり

スポーツによる交流の推進

大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に向け、近隣市町と広域的に連携し、交流人口の増加や地域経済の活性化を図ります。また、市内スポーツ施設の有効活用を図るとともに、計画的な整備等を行い、誰もが安心して楽しめ、魅力を感じられるスポーツ環境の提供に取り組みます。



第３期 鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）

基本目標1 やってみたい仕事が広がるまち
第2次かのや農業・農村戦略ビジョン等に基づく農林水産業の振興や、商工業の活性化、雇用の促進に取り組みます。

基本目標2 交流で賑わうまち
地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流の推進、本市の魅力を活用した移住・定住の促進に取り組みます。

基本目標3 こども・若者の未来を創るまち
こどもを産み育てやすい環境づくりや、未来を担う心豊かでたくましい人づくりのための教育の充実に取り組みます。

基本目標4 安心して暮らし続けられるまち
快適な住環境の整備や防犯・交通安全など安心して暮らせる地域づくり、自然環境にやさしいまちづくりに取り組みます。

基本目標5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち
こどもから高齢者、障がいのある人など多様な地域住民が互いに支えあいながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域共生社会」の実現に取り組みます。

寄附御礼

- ＨＰ掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額100万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）

重点プロジェクト１

地域資源を生かした観光の推進



鹿屋市では、日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」、神代三山陵の一つ「吾平山上陵」などの観光資源や、日本で唯一の国立の体育系単科大学である「鹿屋体育大学」、国内有数の農業産出額を誇る多様で豊かな「食」など、地域資源の磨き上げによる、魅力的な観光地づくりを推進しています。観光誘客ＰＲによる本市の認知度向上と、豊かな自然を生かした多様な体験プログラムの提供等を通じて、関係人口の創出・拡大に取り組みます。

数値目標 …… 入込客数【年度】：1,660,000 人
ふるさと納税寄附件数【年度】：204,000 件

具体的な 寄附のメリット

- ●100 万円以上
  - ・感謝状贈呈式の実施（希望しない場合は郵送対応）※広報誌での紹介（贈呈式実施の場合のみ）
  - ・市ホームページに寄附企業の名称、企業ロゴ、企業ホームページのリンク掲載
- ●10 万円以上
  - ・御礼状の郵送
  - ・市ホームページに寄附企業の名称、企業ロゴ、企業ホームページのリンク掲載

重点プロジェクト２

持続可能な公共交通の構築



鹿屋市では、持続可能な公共交通の構築を目指し、「総合交通対策」を推進しており、啓発活動や地域対話会等を通じて、公共交通の利用促進と交通空白地の解消に取り組んでいます。具体的には、交通事業者と連携した路線の最適化に加え、最新のAIオンデマンドシステムを導入し、市街地だけでなく、市内全域へデマンド交通を展開します。誰もが安心して移動できる環境を整え、外出機会の創出により、将来にわたって住み続けたいまちの基盤を創り、次世代へとつないでいきます。

総事業費 …… 212,476 千円
数値目標 …… コミュニティ交通の利用者数【年度】：49,000 人

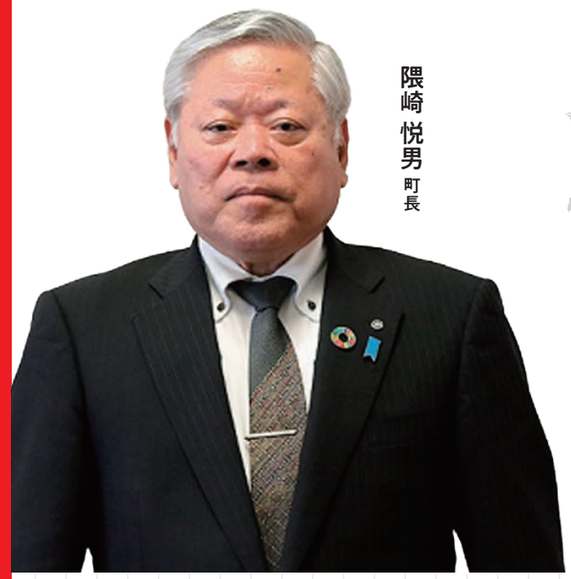
具体的な 寄附のメリット

- ●100 万円以上
  - ・感謝状贈呈式の実施（希望しない場合は郵送対応）※広報誌での紹介（贈呈式実施の場合のみ）
  - ・市ホームページに寄附企業の名称、企業ロゴ、企業ホームページのリンク掲載
- ●10 万円以上
  - ・御礼状の郵送
  - ・市ホームページに寄附企業の名称、企業ロゴ、企業ホームページのリンク掲載

喜界町

キカイチョウ

KIKAI TOWN



隈崎 悦男 町長



総人口 6,100人
男 3,043人
女 3,057人
世帯数 3,607世帯

〈人口構成比〉
15歳未満 10.0%
15～64歳 45.6%
65歳以上 44.4%

平素から喜界町政にご理解ご協力を賜り熱くお礼申し上げます。本町では、喜界町まち・ひと・しごと創生推進計画を実現するため、本事業を活用したご支援を募集しております。いただいたご寄附は、新規就農者を支援する事業や、喜界高校に通いながら様々な分野を学ぶ「サンゴ離島留学事業」、子育て支援などに活用しております。
「子や孫の世代が住んでよかったと思える元気な島」を目指して参りますので、引き続き、温かいご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー05 災害対策・防災

災害に強く、人にやさしいまちづくりの推進

ジオパークの取組みを活用し集落ごとに土地の成り立ちや災害リスクを理解し、自主 防災組織のさらなる強化や地域の防災リーダーとなる人材育成に努める。また、町民の防災意識の高揚、災害対応力の強化に取り組み、地域防災力の中核的役割を担う消防団を支援。さらに、デジタル技術を活用した災害箇所の発見など DX を活用した安心・安全な生活環境の整備を推進。



カテゴリー09 まちづくり

脱炭素による環境にやさしいまちづくり

町の抱える地域課題の解決や地域経済の向上・活性化へと結びつけ、「安心・安全で美しいまちづくり」、の実現のために、島の文化や自然、景観を保全・継承しながら、できることを着実に進めていくことで、2050 年までにゼロカーボンアイランドを目指す。



喜界町総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 きらりと輝くためのしごと創出事業
①稼ぐ農業の推進
②先端技術やＤＸを活用した価値の向上
③多様な人材が活躍できる雇用環境の整備

基本目標2 きらりと輝くためにひとを呼び込むための事業
①ひと・モノ・情報の流れをつくるプロモーション
②移住・定住の促進
③滞在型・着地型観光の推進

基本目標3 きらりと輝く若い世代を後押しするための事業
①結婚、妊娠から出産、育児までの切れ目ない支援
②地域を担うグローカル人材の育成
③女性活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの充実

基本目標4 きらりと輝き安心安全なくらしができる地域をつくるための事業
①地域住民主体の地域づくり
②災害に強く、人にやさしいまちづくりの推進
③脱炭素による環境にやさしいまちづくり
④誰もが便利で快適に暮らせるためのデジタル基盤の整備

寄附御礼

- ＨＰ掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額200万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額300万円以上）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト１

移住・定住の促進

サンゴ離島留学事業



本町は豊かな自然や風土、固有の伝統文化や歴史があり、さらに世界有数の隆起スピードで隆起するサンゴ礁で形成された島として知られ、固有の資源を有する。こうした魅力を更に発掘を図る中で、離島留学制度を活用し高校生活の３年間を喜界島で送りながら、専門家とサンゴに関する調査を日々実施している。

総事業費 …… **3,500** 万円

数値目標 …… 毎年 6 名受け入れ、3 学年 18 名のサンゴ留学生を維持する

具体的な寄附のメリット

●10万円～
10万円から受付。
希望事業者はHPや広報誌で周知。
感謝状贈呈は状況に応じて対応。

重点プロジェクト２

災害に強く、人にやさしいまちづくりの推進

防災リーダーの育成



南海トラフ巨大地震や台風などの自然災害への対策強化をはじめ、防犯まちづくり体制の強化や感染症対策の充実などを図り、安全・安心なまちづくり推進を図る。また、ジオパークの取組みを活用し集落ごとに土地の成り立ちや災害リスクを理解し、自主防災組織のさらなる強化や地域の防災リーダーとなる人材育成に努め、町民の防災意識の高揚、災害対応力の強化に取り組み、地域防災力の中核的役割を担う消防団を支援。さらに、デジタル技術を活用した災害箇所の発見などDX を活用した安心・安全な生活環境の整備を推進。

総事業費 …… **150** 万円

数値目標 …… 防災リーダー育成（人）現 **1** 名 → **2** 名

具体的な寄附のメリット

●10万円～
10万円から受付。
希望事業者はHPや広報誌で周知。
感謝状贈呈は状況に応じて対応。

肝付町

キモツキチョウ

KIMOTSUKI TOWN



永野 和行 町長



総人口	13,400人
男	6,601人
女	6,799人
世帯数	7,219世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	10.9%
15～64歳	45.2%
65歳以上	43.9%

本町は、鹿児島県の南東部に位置し、豊かな自然とJAXA内之浦宇宙空間観測所を有する「自然と宇宙が調和する町」です。現在、少子高齢化などの地域課題を克服し、持続可能なまちづくりを進めるための様々なプロジェクトに挑戦しています。企業の皆様が持つ知見やネットワークのお力添えをいただき、共にあらたな未来を作り上げたいと強く願っております。企業版ふるさと納税を通じた、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

「宇宙のまち」を次世代の産業拠点へ

現存する発射場で最も歴史のあるJAXA内之浦宇宙空間観測所を有する「宇宙のまち」として、大学や企業等と連携したロケット打上げ実証や宇宙人材の教育拠点化に加え、民間活力の導入による宇宙関連産業の誘致を推し進め、地域創生を目指します。



カテゴリー03 地域活性化

持続可能な地域公共交通の未来をつくる

人口減少による運転手不足などが大きな課題となっており、地域を支える公共交通網の維持のため、AIを活用したオンデマンド乗合タクシーの導入など地域公共交通事業に取り組んでいます。今後、この取組をより一層推し進めるべく、民間企業様の先進的な技術やノウハウを取り入れた次世代モビリティの構築等を目指しています。



肝付町地域創生戦略（重点プロジェクト）

基本目標1 肝付町にしごとをつくり、安心して働けるようにする事業

スマート農業の導入や地場産品のブランド化による第一次産業の維持・発展を図ります。さらに「宇宙のまち」の強みを活かした宇宙関連産業の活性化を推進し、多様な人材が活躍できる安定した雇用の創出を目指しています。

基本目標2 肝付町への新しいひとの流れをつくる事業

地域資源を活かした観光開発やDX活用によりまちの賑わいを創出します。また、多様な働き方に応じた移住・定住の促進や教育の充実を通し、関係人口の拡大と人や民間資金の新たな流入を図ります。

基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚に向けた「出逢いの場」の提供から不妊治療の支援、住宅や教育費などの経済的負担の軽減まで、切れ目のない支援体制を整え、安心して子育てができる環境を整備します。

基本目標4 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

再生可能エネルギーの地産地消やデジタル活用による地域活性化を進めます。また、地域公共交通の充実や防災機能の強化により、SDGsの視点を取り入れた誰もが安心して暮らせる持続可能な地域を目指します。

寄附御礼

- 贈呈式開催
- 感謝状贈呈
- 自治体広報誌掲載
- HP掲載
- 紺綬褒章推薦
- 功労者表彰推薦
- 視察受入
- その他

重点プロジェクト1

宇宙・科学のまちづくりプロジェクト

日本一の宇宙科学の町へ



JAXA内之浦宇宙空間観測所を有する強みを活かして「日本一の宇宙科学の町」を目指し、地域活性化や雇用創出を図ります。具体的には学生ロケットの打ち上げ支援を通した宇宙教育の拠点化、パラボラアンテナなど宇宙開発の歴史遺産の観光活用、同じく発射場を有する南種子町との「宇宙兄弟」としての交流などを進めます。少子高齢化の課題を抱えるなか、産学官民が連携して宇宙を身近に感じるまちづくりを推進しています。

総事業費 …… 14,335,000円

数値目標 …… 宇宙人材の教育に資するロケット打上げ実証や研究：3件
宇宙産業に関連した起業促進と企業誘致：1件

具体的な 寄附のメリット
- 感謝状贈呈
- 広報誌への記事掲載
- HPへの掲載

重点プロジェクト2

肝付町農業振興センター雇用就農事業

新規就農者育成に全力で取り組みます



基幹産業である農業の高齢化や後継者不足の課題解決を目指します。独立就農を目指す人に技術指導を行う「新規就農者育成事業」や、働きながら実践的な技術を学ぶ「雇用就農事業」を軸に、次世代の農業者を育成します。さらに、地元食材を活用した学校給食事業、人手不足を解消する農業サポーター事業、ICTを活用するスマート農業の推進など、多角的なアプローチで地域の農業振興に取り組んでいます。

総事業費 …… 36,700,000円

数値目標 …… 認定新規就農者数：18人　農業産出額（耕種）：16億円

具体的な 寄附のメリット
- 感謝状贈呈
- 広報誌への記事掲載
- HPへの掲載



中重真一 市長



総人口	121,737人
男	59,068人
女	62,669人
世帯数	63,083世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	13.2%
15～64歳	57.3%
65歳以上	29.5%

私たちを取り巻く社会環境は、人口減少・少子高齢化の進行、デジタル化の進展、世界情勢不安による物価高騰などにより、大きく変化してきています。
このような中、本市は市民と共に考え、共有し、行動する「協働と連携のまちづくり」を推進し、企業版ふるさと納税を通じて、様々なステークホルダーの皆様と持続可能なまちづくりを進めてまいります。ぜひ、本市の取組にご賛同とご理解をいただき、寄附をご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー02 過疎対策・移住定住

「選ばれるまち、きりしま」へ　～移住・定住促進プロジェクト～

「霧島に住んでみたい」と感じていただけるまちを目指しています。一方で、まちの魅力を届け、移住希望者とつながる工夫は、行政だけでは行き届かない部分もあります。魅力の発信や空き家の活用など、企業のアイデアと技術をお借りし、「住みたい霧島」を一緒につくっていきます。



カテゴリー04 児童福祉

挑戦する生徒を育む　～国分中央高校応援プロジェクト～

国分中央高校は、商品開発や販売実習などの実践的な学びを通じて、夢や希望に果敢に挑戦する生徒を育てる実業系の高校です。生徒たちの挑戦を、企業のみなさまと一緒に応援したいと考えています。現場ならではの専門知識やキャリア教育のノウハウを生かし、地域の未来を担う若い力を、ともに育んでいきます。



霧島市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 訪れたいまち
本市の多様な魅力を発信して移住・定住や関係人口の創出を進めるとともに、国立公園「霧島」や国宝「霧島神宮」、温泉・食などの資源を生かした感動を生む観光地づくりにより、国内外からの交流人口の増加を目指します。

基本目標2 住み続けたいまち
結婚・出産・子育て支援や夢を育む教育を充実させるとともに、質の高い医療体制の確保、公共交通の利便性向上、脱炭素化やDX推進などに取り組み、誰もが安心して暮らせる魅力的な地域社会の形成を目指します。

基本目標3 働きたいまち
本市の強みを生かした企業誘致や創業支援、中小零細企業への支援で産業基盤を強化。霧島ブランドの確立や担い手育成で「稼ぐ」農林水産業を育成し、人材と市内企業のマッチングで若者の地元定着を図ります。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（寄附額100万円以上）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト1

市立医師会医療センター整備事業

始良・伊佐保健医療圏の中核病院 ～最先端の技術で地域医療を支える～



老朽化した市立医師会医療センターを一新し、新病院が令和7年2月1日に開院しました。地上6階建て・全室個室の254床で、診療科を以前の13科から25科に拡充しています。急性期病院として高度な医療を担うとともに、地域医療支援病院として地域の病院・診療所を支え、地域全体で患者を支える体制づくりに貢献します。始良・伊佐保健医療圏の中核病院として質の高い医療サービスの提供に努め、令和9年度のグランドオープンに向け整備を進めています。

総事業費 …… 約 **180** 億円
数値目標 …… **令和9年度内にグランドオープン**

具体的な寄附のメリット
- 10万円～　市HPへの記事掲載
- 100万円～　感謝状贈呈式を開催（報道機関へのプレスリリースを実施）
- 地域医療の充実や3つのSDGsの目標に貢献

重点プロジェクト2

霧島市クリーンセンター運営事業

ごみをエネルギーに ～暮らしと環境を未来につなぐ環境拠点づくり～



霧島市クリーンセンターが令和8年3月1日に供用を開始しました。1日140トンのごみをストーカ式焼却炉で安定的に処理し、焼却熱で発電も行います。最大の特長は、ごみ処理の仕組みを間近で見学できる環境学習ゾーン。広いガラス面から工場内部を見渡せ、プロジェクションマッピングによる焼却炉体験やパネル・模型展示を通じて、次世代を担う子どもたちが楽しく環境について学べます。4RやSDGsを発信する、市民に信頼される未来志向の環境拠点を目指します。

運営費 …… 約 **102** 億円

具体的な寄附のメリット
- 10万円～　市HPへの記事掲載
- 100万円～　感謝状贈呈式を開催（報道機関へのプレスリリースを実施）
- 脱炭素などの6つのSDGsの目標に貢献

薩摩川内市
サツマセンダイシ

SATSUMASENDAI CITY



田中 良二 市長



総人口	88,016人
男	42,888人
女	45,128人
世帯数	41,046世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	13.8%
15～64歳	53.2%
65歳以上	32.1%

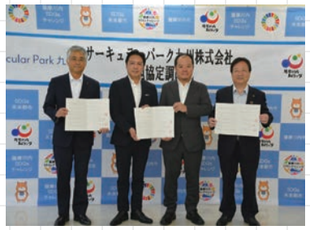
薩摩川内市では、「第3次薩摩川内市総合計画（薩摩川内2034ビジョン）」や「薩摩川内スマイルアクション50～「笑顔」あふれる「集いと循環」のまちづくり～」をもとに、楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）と、人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）に取り組んでいます。
今後も、市民の皆様とともに、このまちの姿の実現に向けてまい進して参りますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

サーキュラー都市・薩摩川内

薩摩川内市は、川内港臨海ゾーンを起点に、資源循環を基盤とした「サーキュラー都市」の実現を目指しています。川内火力発電所跡地のサーキュラーパーク九州を中核拠点に、川内港久見崎みらいゾーンへの産業集積や物流機能の充実を図り、循環経済による新たな産業創出と地域活性化を進めています。



カテゴリー02 過疎対策・移住定住

産業人材の確保・定着を目指して

薩摩川内市では、中小企業等の産業人材確保及び地元就労の促進を支援するため、移住相談窓口の設置やUIJターン支援、住宅・家賃補助、移住支援金、就職マッチング、奨学金返還支援などを通じて、移住・定住の促進と若者の定着を図っています。



第３次薩摩川内市総合計画（重点プロジェクト）

基本目標1 共生と多様性で輝くまち（コミュニティ・都市経営）
広聴広報を充実させるとともに、安定的な財政運営、積極的な行政改革を進め、多様性のある社会を形成しながら、コミュニティの活動や市民活動の活発化に向けた支援を展開します。
また、未来の発展と持続可能なまちづくりを実現するための支援体制を充実します。

基本目標2 安全・安心なまち（市民安全・消防）
市民サービスの維持と向上に取り組み、複雑化する災害等に対し、生活環境を守り、住み慣れた地域に安全・安心に住み続けられるように、防災力・消防力を増強するとともに、市民・事業者・行政が連携する体制を構築します。

基本目標3 健やかに暮らせるまち（保健福祉）
全ての市民が障害等の有無にかかわらず、地域においてお互いを尊重し合いながら共生して暮らすことのできる体制づくりに取り組みます。
また、健康づくりに対する市民意識の向上のための普及・啓発を進めるとともに、住み慣れた地域で健康で生き生きと安心して暮らしていくことのできる医療体制等の維持・強化に取り組みます。
さらに、子どもを安心して産み育てることのできる環境の整備に取り組みます。

基本目標4 次世代につなぐ教育のまち（教育）
家庭における子どもの居場所づくりが進み、学校と地域が連携・協働して、全ての子どもに寄り添い、それぞれの個性に応じた教育の機会において、自らの可能性を追求できる、誰一人取り残さない学校教育を実現します。
また、文化財等が地域・市民の手で守られ、利活用を通して次世代に継承される環境を整備します。

基本目標5 活力と賑わいを生み出すまち（産業・シティセールス）
農村、漁村を含む生産基盤の強化と担い手の育成・確保及び六次産業化の促進により生産力の向上を図るとともに、販売力、流通力の向上のための取組を充実させます。
商工業においても、本市の強みや地域の特性を活かした企業の振興や産業の創出に取り組みます。
また、効率的で持続可能な地域公共交通ネットワークの構築や買い物などの生活利便性の維持に取り組みます。
今後も、「また訪れたくなる」観光地となる誘客対策を実施するとともに、地域の魅力を引き出すまちづくりに取り組みます。

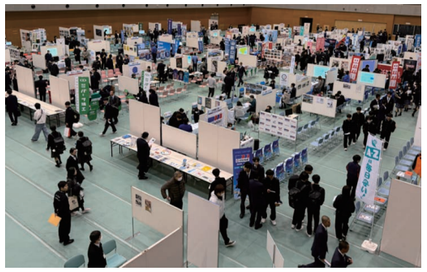
基本目標6 社会を支える快適なまち（建設・水道）
市民生活を支える社会基盤の維持管理のため、防災機能を高めた安心して暮らせる都市機能の整備・保全に取り組みます。
また、南九州西回り自動車道へのアクセスを向上させ、広域道路ネットワークを形成し、物流の効率化と新たな人の流れを創出します。
さらに、住民生活や経済活動に不可欠な上・下水道事業を安定的に運営するため、施設等の耐震化、長寿命化と効率的な維持管理に取り組みます。

寄附御礼
- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（寄附額100万円以上）

その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト１

ジモト就職ジョブマッチング事業



市内中小企業等の人材確保を図るとともに、市内高校・大学等の新卒者やＵＩＪターン希望者の地元就職を促進するため、市が運用する「求人・求職マッチングサイト　Job! 薩摩川内」を通じて、企業情報や求人情報の発信をします。また、事業者と求職者のニーズを踏まえた効果的なマッチング機会の創出により、円滑な人材確保と定着を目指します。

総事業費 …… **11,105** 千円

数値目標 …… 令和11年度市内学校新卒者の市内企業就職率 **35.0** %
令和11年度年間雇用保険被保険者数 **26,500** 人
令和11年度住民基本台帳人口における社会増減数 **増減０**（5カ年平均）

具体的な寄附のメリット
- ● 100万円～　感謝状贈呈・市HPへの掲載・広報誌への掲載
- ● 10万円～　市HPへの掲載・広報誌への掲載

重点プロジェクト２

コミュニティ活動支援事業



薩摩川内市では、地域住民が主体となって地域課題の解決や地域活性化に取り組むコミュニティ活動を推進しています。人口減少や少子高齢化、担い手不足などの課題に対応するため、地区コミュニティ協議会や自治会による交流事業、伝統文化の継承、環境保全活動などを支援しています。地域への愛着と誇りを育み、世代を超えた交流や人材育成を通じて新たな担い手を確保し、誰もが安心して暮らせる持続可能で活力ある地域づくりを目指しています。

総事業費 …… **290,008** 千円

数値目標 …… 令和11年度地域活動への参加率 **79.0** %

数値目標 …… 令和11年度自治会加入率 **75.0** %

具体的な寄附のメリット
- ● 100万円～　感謝状贈呈・市HPへの掲載・広報誌への掲載
- ● 10万円～　市HPへの掲載・広報誌への掲載

さつま町

サツマチョウ

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額50万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額50万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額１００万円以上）
- その他（地元報道機関へのプレスリリース寄附額１００万円以上）
- 視察受入
- 功労者表彰推薦（寄附額５００万円以上）
- 紺綬褒章推薦（寄附額１０００万円以上）

SATSUMA TOWN



上野 俊市 町長



総人口	18,100人
男	8,496人
女	9,604人
世帯数	9,725世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.0%
15～64歳	47.0%
65歳以上	44.0%

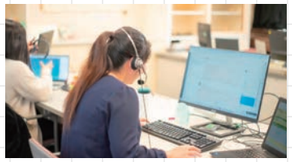
さつま町誕生から20年、地域の歴史や文化、暮らしを大切に、まちの一体感を育んできました。まちの将来像を「あなたの夢にまっすぐ　新たな挑戦が未来をつくる」と定めるとともに、人口減少対策やまちの活力創出に向けた4つの重点プロジェクトを掲げ施策を推進しています。誰もが夢や活力を持ち、新たなチャレンジを応援するため、寄附金は「みんなで子育てを応援する環境づくり」や「誰もが活躍できる意識と環境づくり」などに活用します。さつま町の発展に皆さまの温かいご支援ご協力を心よりお待ちしております。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー 08 **雇用維持・創出**

デジタル人材育成の強化

さつま町では、人口減少と高齢化が急速に進行しており、今後も生産年齢人口の減少が見込まれる中、町内経済の持続的な発展と地域活力の維持のためには、女性をはじめとする多様な人材の活躍推進が不可欠です。
特にデジタル技術の進展により、地域産業や日常生活におけるデジタル人材の需要が高まっており、これに対応するため、女性のデジタル分野への参画支援を通じて、「選ばれるまちづくり」を目指しています。更に、高齢者等のデジタルデバイド対策を講じることにより、高齢者等のICT利用者が増加し、行政サービスや地域参加が促進されることで、孤立を防ぎ、地域経済の活性化が期待されます。誰も取り残さない社会の実現のため、デジタル人材の育成とデジタル社会の構築の両輪による地方創生を目指しています。





さつま町総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **さつまで“はたらく”プロジェクト**
稼げる農林業の実現、活気あふれる商工業の基盤づくり

基本目標3 **さつまで“はぐくむ”プロジェクト**
出会い・結婚・出産にわたる切れ目ない支援、みんなで子育てを応援する環境づくり

基本目標2 **さつまで“つながり・住まう”プロジェクト**
“らしさ”を生かした観光の活性化、広域連携での交流促進、移住・定住に向けた支援とアプローチの充実

基本目標4 **さつまで“暮らす”プロジェクト**
暮らしを支える保健・福祉の充実、快適な暮らしの基盤づくり、誰もが活躍できる意識と環境づくり

重点プロジェクト１

学びの多様化学校「宮之城中学校分教室」プロジェクト



さつま町では、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成できる「学びの多様化学校」を、2026年４月に鹿児島県内公立学校初として宮之城中学校の分教室「みらいる～ム拓（ひらく）」を開設しました。
さつま町の「誰一人取り残さない学びの保障」構想に則り、さつま町独自の不登校生徒に対する確かな学力の育成、社会的な自立を目指したプロジェクトです。従来の学校の枠にとらわれず、生徒のペースや特性に合わせた柔軟な学びを提供する取組です。

総事業費 …… **2,433** 千円
数値目標 …… 学校教育・教育環境に関する満足度
52.8%（R6）→**65.0**%（R12）

具体的な **寄附のメリット**
誰一人取り残さないというSDGsの理念のもと、不登校などの生徒への学びの提供に共感いただくことで、生徒の学びの充実に繋がるとともに企業様のイメージアップにも繋がるものと考えます。

重点プロジェクト２

薩摩のさつまブランド共創推進プロジェクト



事業者・団体組織等が垣根を越え結束し、お互いを褒め合い、紹介し合い、まち・人の魅力や商品の価値を次々に伝えていく「おとなりさんのソムリエ」を大切にしながら、愛着と誇りある地域ブランドを確立し、持続発展に向けた経済活動に繋げる取組です。

総事業費 …… **4,736** 千円
数値目標 …… 物産館の売上額
560 百万円（R6）→ **584** 百万円（R12）

具体的な **寄附のメリット**
愛着と誇りを持てる“さつま町”の未来に向けて、若手事業者を中心に活動する薩摩のさつまブランドを応援することで、さつま町の「人」や「地域」との繋がりを醸成できるとともに、持続可能な地域経済の発展に寄与できます。

志布志市

シブシシ

SHIBUSHI CITY



下平 晴行 市長



総人口	27,937人
男	13,429人
女	14,508人
世帯数	14,981世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	14.0%
15～64歳	47.2%
65歳以上	38.8%

本市は、ごみの分別収集によるリサイクルや紙おむつの再資源化をはじめ、豊かな自然や文化財を生かしたまちづくり、志布志港からの農林水産物の輸出拡大など、さまざまな挑戦を重ねています。これらの取組は、企業の皆様とのつながりによって、より一層大きく育まれていくものと考えております。
皆様からのご寄附は、新たな価値の創出と地域の発展を力強く後押しします。ぜひ本市に温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額200万円以上）
- 紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）
- 功労者表彰推薦
- 視察受入
- その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

鳥獣被害の軽減

市内で深刻化しているイノシシやたぬき、サル、カラスなどの野生動物による鳥獣被害を軽減するため、対策を総合的に管理できるシステムの導入検討を行ったり、ICTを活用した各種ワナを設置することにより、農作物被害の防止や捕獲従事者の負担軽減を図りたいと考えています。



カテゴリー06 観光客の誘致・地域PR

「まちあるき」観光の推進

美しい自然や多くの恵まれた歴史資源を活用した観光地づくりと歴史等を散策する「まちあるき」観光を推進するため、観光客の利便性を図る整備やダグリ岬海水浴場を中心としたダグリ公園周辺の整備を実施し、豊富な海洋性動植物やマリンスポーツを通した体験型観光の拠点として活用します。



志布志市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする

本市における労働力人口の減少に歯止めをかける上では、魅力的な仕事があり、ここに住み、働きたいと思えるまちであることが重要です。そのために、本市の強みである農林水産業や志布志港を生かした産業の振興を図ることで稼ぐ力を高め、併せて安定した雇用の場の確保を目指します。また、若者や女性、高齢者、障がい者、就職氷河期世代の方々など、誰もが安心して働き、地域で活躍することができる環境づくりを通じ、担い手の確保や掘り起こしにもつなげていきます。

基本目標2 ひとや企業とのつながりを築く

人口減少が進む中においても本市が持続性と発展性を備える上では、本市に愛着や誇りをもつひとや企業を創出し、さらにはそういった方たちとつながりを築くことが重要です。そのために、いなか暮らしを望む方の本市への移住を促進することや、小学校・中学校・高等学校段階における地元に誇りを持つ人材の育成を推進し、本市へのひとの定着を目指します。加えて、市外にありながらも本市や本市の人々と多様なかたちで関わる関係人口や企業とのつながりを深め、まちづくりの力にしていく取組を展開します。

基本目標3 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

少子化の流れに歯止めをかけていく上では、安心して結婚し、子どもを産み育てることができる環境を整えることにより、特に若い世代において、結婚・出産・子育ての希望を実現できることが重要です。そのために、引き続き、結婚や出産に対するサポートを行うとともに、包括的で切れ目のない子育て支援策を講じます。加えて、子育て世代の働く場など、社会全体で少子化対策に取り組む機運を醸成することや、本市における教育の場を整え、子どもたちが健やかに育つ地域社会の形成を目指します。

基本目標4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる

人口減少社会に適応する上では、人々が暮らしやすいと感じられるようなまちの基盤を維持・確保しつつ、さらに、人々が訪れたい、住み続けたいと思える地域づくりを通じ、まちの魅力を高めることが重要です。そのために、都市機能や日常生活サービス機能、集落生活圏の維持・確保を目指すとともに、併せて広域での連携なども推進します。また、本市ならではの観光地づくりや環境にやさしいまちづくりに取り組むことや、地域の防災力を高めることを通じ、未来の世代へ引き継いでいけるまちの形成を推進します。

重点プロジェクト1

移住定着拡充プロジェクト



子育て世代から望まれていた室内遊び場の整備を令和5年から開始しました。この施設整備は小児科や古民家の整備とも連動し、商店街の活性化やまちあるき観光にもつながります。施設は、多様な働き方を支えるテレワーク環境やデジタル体験スペース、住民が交流できるコミュニティスペースやカフェ、さらには観光情報発信の拠点としての機能も備え、子どもを中心に働く人々や地域住民、観光客などが交流できる、「多世代交流施設」としています。地域の魅力を高め、子育て世代を中心とした移住・定住の促進を図ります。

数値目標 …… 政策実施に伴う移住者数

43人（R2）→ 200人（R8 累計）

具体的な寄附のメリット

●10万円以上	市報及び市HPへの掲載
●50万円以上	多世代交流施設へ銘板の設置
●100万円以上	感謝状贈呈
●200万円以上	感謝状贈呈式の開催

重点プロジェクト2

観光パワーアッププロジェクト



志布志市は、充実したスポーツ施設を生かし、志布志市で合宿を実施いただけるようスポーツ団体等に対して誘致活動を行ったり、奨励金の交付を行ったりしています。また、吹奏楽などの文科系団体の誘致にも取り組んでおり、スポーツ分野に限らない地域交流も目指しています。スポーツ合宿等誘致を今後も継続・発展させるために、施設の修繕や改修、未整備施設への対応も不可欠です。志布志市を訪れる皆様の満足度向上のため、今後も環境整備を進めていくと同時に、地域経済の活性化や交流人口の増加を図っていきます。

数値目標 …… 宿泊者数

66,092人（R2）→ 90,000人（R8）

具体的な寄附のメリット

●10万円以上	市報及び市HPへの掲載
●100万円以上	感謝状贈呈
●200万円以上	感謝状贈呈式の開催

曽於市
ソオシ

SOO CITY



竹田 正博 市長



総人口	31,071人
男	14,603人
女	16,468人
世帯数	16,941世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.8%
15～64歳	45.8%
65歳以上	44.4%

曽於市は自然と食文化に恵まれ、人のつながりを大切にしながら発展してきました。人口減少が進む中でも、未来を担う子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと、地域に活力を生む産業振興を進めています。企業版ふるさと納税での御支援は、子どもたちの笑顔と地域の未来を支える力となります。全国の企業の皆さまと共に、子どもたちの笑顔があふれ、地域が元気に輝く曽於市を築いてまいりたいと願っております。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

「持続可能な未来を支える基盤を整える」

人口減少と担い手不足が進む中、農林畜産業では高齢化に伴う労働力不足への対応や、負担軽減に向けた省力化・生産性向上が求められています。教育分野でもICT活用のばらつきが課題となっています。
加えて行政では、地図や台帳等の情報が各部署に分散していることによる業務の属人化、来庁を前提とした手続き、インフラの老朽化への対応が、限られた人員・財源の下で大きな負担となっています。



カテゴリー09 まちづくり

「安心して暮らせるまちを創る」

人口減少と少子高齢化の進行、地域の担い手不足やつながりの希薄化も重なって、子育て・教育・医療等の基盤・日常の安心が揺らぎつつあります。生活にとって欠かせないサービスの維持が課題となっており、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりが求められています。



曽於市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **安心して暮らせるまちを創る**
子育て・医療・福祉や交通を充実させることで、住民の安心と健康寿命、地域交流を支え、市民の暮らしの質を高めます。

基本目標2 **地域の資源で稼ぐ力を高める**
農林畜産業を軸とした地場産品の高付加価値化と企業誘致を進め、地域にお金を循環させ、稼ぐ力と雇用を生み出します。

基本目標3 **人と企業が集い、ともに暮らすまちを支える**
若者が戻りたいと思える魅力を高め、学びと働く場、移住・交流を促進し、人と企業が交流・循環する地域社会をつくります。

基本目標4 **持続可能な未来を支える基盤を整える**
デジタルや AI 活用と GX・DX の実装で行政効率と防災力、環境政策を推し進め、持続可能で災害に強いまちを目指します。

基本目標5 **広域的なつながりで価値と活力を広める**
鹿児島・宮崎の結節点として周辺自治体と連携し、交通・観光・経済ネットワークと防災協力で広域の価値と活力を高めます。

寄附御礼
- ●ＨＰ掲載（寄附額10万円以上）
- ●自治体広報誌掲載（寄附額100万円以上）
- ●感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- ●贈呈式開催（寄附額100万円以上）
- ●その他
- ●視察受入
- ●功労者表彰推薦
- ●紺綬褒章推薦

重点プロジェクト１

安心して暮らせるまちを創る事業



全ての世代が安心して日々を過ごせるよう、子育て期の負担軽減や地域医療体制の充実、高齢者の移動や交流の支援など、日常生活に身近なサービスの持続と質の向上を図ります。また、暮らしに彩りと安らぎをもたらす住環境の整備や、健康づくり・地域交流の場づくりを通じて、市民一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続けられるまちを目指します。人口構造の変化を踏まえ、地域の支え合いや多世代共生の視点を重視しながら、将来世代にも安心が引き継がれる持続可能な暮らしの基盤づくりを進めます。

具体的な寄附のメリット
- ●ＨＰ掲載
- ●感謝状贈呈（寄附額 100 万円以上）
- ●贈呈式開催（首長出席、寄附額 100 万円以上）

重点プロジェクト２

日本初技術共有スマートグラスプラットフォーム「Type Soo Mine（TSM）」



スマートグラスを活用し、現場の映像と判断をリアルタイムで共有することで、離れた場所から専門的な支援を可能にする仕組みです。本システムは、日本初となる「ブラウザ方式」を採用し、専用アプリや機器に縛られず、誰でも・どこでも即時に接続できます。さらに、現場対応は自動で記録され、AIにより整理・要約されることで、熊本大学大学院の研究による教育工学に基づいた教材として活用されます。
これにより、属人化していた技術を「型」として可視化し、誰でも再現可能な形で組織全体に継承することが可能となります。

具体的な寄附のメリット
- ●ＨＰ掲載
- ●感謝状贈呈（寄附額 100 万円以上）
- ●贈呈式開催（首長出席、寄附額 100 万円以上）

垂水市

タルミズシ

TARUMIZU CITY



尾脇雅弥 市長



総人口	12,588人
男	5,972人
女	6,616人
世帯数	7,104世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	7.4%
15～64歳	45.6%
65歳以上	47.0%

垂水市は、鹿児島県のシンボル桜島に隣接し、鹿児島湾を望む景勝の地です。全国的に少子高齢化が進む中、人口減少をやわらげ、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持するため、「豊かな食と自然を未来へつなぎ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 垂水市」を目指したまちづくりを進めています。
企業版ふるさと納税を通じ、皆さまとパートナーシップを構築し、本市の特性を活かした持続可能なまちづくりに取り組みます。ぜひ、温かいご支援をお願いいたします。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

地域の特性に応じた産業振興

基幹産業である農水産業において、ICT技術の導入等による省力化やスマート化により生産性向上を図るとともに、6次産業化や本市特産品のブランド化を推進することで付加価値向上を目指します。また、販路拡大により、従事者の所得向上を図り、良質な雇用環境の創出を目指します。



カテゴリー09 まちづくり

「住みよい垂水」を目指して

少子高齢化による地域活力の低下が懸念されるなか、地域の個性を生かした魅力ある地域づくりが求められます。本市では、幸福度（ウェルビーイング）の視点を大切にした地域づくりを進めるため、デジタルインフラの整備や交通ネットワーク等の整備をとおし、暮らしやすいまちづくりを推進します。また、災害に備えたまちづくりを推進するほか、医療・介護の切れ目ないサービス提供により、いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるまちを目指します。



第６次垂水市総合計画兼第３期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）

基本目標1 **多様な働き方を推進する**
若年層が夢を持ち、魅力ある誇れる仕事づくりや雇用環境の整備を図るため、多様な働き方を推進します。

基本目標2 **人の流れをつくる**
人口減少・少子高齢化の中、地域活性化を図るため、交流人口や市外からの移住・定住を推進するとともに、流出する人の流れをやわらげる取組を推進します。

基本目標3 **結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
少子化については、様々な要因が複雑に絡み合っているため、結婚、出産、子育てを望む人に必要な支援を行い、それぞれの希望をかなえます。

基本目標4 **魅力的な地域をつくる**
人口構造の変化による地域活力の低下を防ぐため、地域の個性を生かしつつ、魅力あふれる地域づくりの実現に向けて取組みます。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）

贈呈品
- 自社PR
- 感謝状
- 市長
- HP

- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト１

たるみず元気プロジェクト

健康長寿を目指す「産官学連携の新しい形」健康チェック」



垂水市では、平成29年度から『健康寿命の延伸』に着目した取組として、「たるみず元気プロジェクト・健康チェック」を実施しています。
本取組は、鹿児島大学の医科、歯科、薬学、理学療法、作業療法、保健学、心理学の各分野、および鹿児島県栄養士会、垂水中央病院、民間企業等との多職種連携による、全国でも類を見ない事業です。
健康チェックは、「市民の皆様がご自身の元気度を理解し、その後の生活習慣の改善に役立てていただく」ことを目的としており、口腔機能、認知機能、運動機能など、大きく11の項目で構成されています。40歳以上の市民は無料で参加することができ、参加者からは毎年度、高い満足度をいただいています。
また、本取組は鹿児島大学における前向きコホート研究としても位置付けられています。平成29年度から蓄積されたデータは主に医療・保健分野の学会で発表されており、第59回日本循環器病予防学会学術集会において「第19回日本心臓財団小林太刀夫賞」を受賞するなど、全国的な課題である高齢者の疾病予防や介護予防対策の一助となっています。



総事業費 …… 10,460,000円　　数値目標 …… 健康チェック参加者数 年間 1,500人

具体的な寄附のメリット

- ●10万円～　市HP・広報誌への掲載、お礼状の郵送
- ●100万円～　感謝状贈呈式の開催（市長対応）

たるみず元気プロジェクトに支援を頂くことで、地域振興や地方創生に大きく寄与できるだけでなく、医療・保健分野での研究にも貢献することができ、企業の認知度向上及びイメージアップ効果が期待できます。

元気プロジェクトＱＲコード

長島町

ナガシマチョウ

NAGASHIMA TOWN



川添健 町長



総人口	9,023人
男	4,408人
女	4,615人
世帯数	4,279世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	12.8%
15～64歳	47.2%
65歳以上	40.0%

長島町では、地域資源を活かした産業振興と持続可能なまちづくりを推進しております。企業版ふるさと納税を通じ、皆様との連携により新たな価値創出と地域課題の解決を図り、将来にわたり活力ある長島町の実現を目指してまいります。力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

海藻で海も人もすこやかに海藻プロジェクト

漁獲量の減少による収益低下、担い手不足、高齢化の進行に加え、ブリ養殖における赤潮被害や飼料費高騰など、水産業は複合的な課題に直面しています。また、有人離島の獅子島では新産業の創出が求められています。これに対し、海藻の種苗開発から陸上・海面養殖、加工・販売までを一気通貫で行う民間企業の技術を活用し、試験養殖を実施することで、地域に適した品種と生育時期を実証し、新たな収入源の確立と海洋環境の再生を目指し、持続可能な水産業と地域活性化の実現を目指します。



カテゴリー02 過疎対策・移住定住

定住支援のための住まいの充実

定住支援を推進するため、空き家の改修・活用を進め、安心して暮らせる住まいの確保に取り組みます。改修住宅は移住希望者への賃貸や販売に活用するとともに、一定期間地域生活を体験できる「おためし住宅」を整備し、移住への不安を軽減します。これにより移住者の受け入れを促進し、地域の人材不足の解消につなげます。



長島町総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 産み育てる環境を充実できるまちをつくる

町の生活環境を整備し、転出理由となる阻害要因を軽減し、子育て環境の充実・子どもへの学習要因等を軽減することを目指します。

1 教育環境のデジタル化　2 行政 DX の推進　3 公共施設等の高機能化、多様化　4 定住支援のための住まいの充実 等

基本目標2 U ターン支援の施策である「ぶり奨学プログラム」推進

回遊魚のぶりのように、島を離れた若者が成長して帰り活躍する場をつくるため、「ぶり奨学プログラム」の実行性を向上させるため、長島大陸みらい研究所において研究を推進します。

基本目標3 IJ ターン支援　様々な仕事を育成し、継続的に活躍できるまちをつくる

施策を組合せ、新たな価値観を生み出し若年層等の関係人口を増やすことを目指します。

1 通信大学・高校等の交流事業　2 連携協力体制の充実　3 転職なき移住の促進　4 新規産業創出事業 等

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額200万円以上）
- その他（御礼状の発送）
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）

重点プロジェクト1

長島独自の奨学金制度が帰る場所（ふるさと）をつくる

ぶり奨学金制度

NAGASHIMA YELLOWTAIL SCHOLARSHIP 長島町ぶり奨学金

ぶり奨学金プロジェクトは、回遊魚であるブリが大きく成長して故郷へ戻る姿になぞらえ、若者の成長と地域への還元を目指す人材育成事業です。寄附を活用し、学生の学びや挑戦を支援することで、将来地域や社会で活躍する人材を育成します。支援を受けた若者が経験や知識を持ち帰り、地域の発展に貢献する好循環を創出することで、持続可能な地域づくりと未来を担う人材の確保を目指します。企業の社会貢献と地域活性化を同時に実現するプロジェクトです。

数値目標 …… 1 億円、利用者数（中学校卒業者数）年間 80％

具体的な寄附のメリット

若者の学びと成長を支え、将来の人材育成につながる意義のある取組みです。支援を受けた学生が地域へ貢献する好循環を生み、教育格差の解消や機会創出にも寄与します。また、企業にとってはCSRやSDGsの観点から評価が高まり、地域産業やブリ文化の魅力発信にもつながります。地域と未来への価値ある投資です。

重点プロジェクト2

夢追い獅子島架橋

海を越えて繋ぐ希望のかけ橋



獅子島と本島を常時結ぶことで交通の利便性を高め、通勤・通学や医療の安心を支えるとともに、観光客の増加や物流の効率化による地域経済の活性化を促す。さらに移住促進や人口維持にもつながり、「離島」から「交流の拠点」へと発展する持続可能なまちづくりを目指します。

総事業費 ……約 400 億円　　数値目標 …… 30 億円、人口 630 人（R16）

具体的な寄附のメリット

地域インフラ整備への支援により SDGs の実践として評価が高まり、企業イメージや信頼性が向上します。

枕崎市

マクラザキシ

寄附御礼

- HP掲載
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

MAKURAZAKI CITY



前田 祝成 市長



総人口	18,681人
男	8,602人
女	10,079人
世帯数	8,930世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.0%
15～64歳	47.6%
65歳以上	43.5%

※令和７年４月１日住民基本台帳人口をもとに作成しています

枕崎市は、生産量日本一の鰹節をはじめ、枕崎茶や本格焼酎など、豊かな食文化が根づくまちです。当市の強みを生かした産業の発展と文化の継承を目指し、様々な地域課題の解決に注力しています。誇るべき産業と文化を次世代に引き継ぎ、さらなる地域の活性化につなげるため、地方創生プロジェクトに邁進してまいりますので、企業様方からの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー 03 **地域活性化**

産業と一体となった魅力あるウォーターフロントのまちづくり形成プロジェクト

県内唯一の「特定第三種漁港」である枕崎漁港を核とし、枕崎お魚センターを中心とした交流人口・関係人口創出力の底上げや本市産業の発展につながる「稼ぐ産業観光エリア」を確立させることで、カツオやかつお節などを中心とした、独自の食文化を強みとする「観光振興」と本市基幹産業である水産業、水産加工業の生産安定や販売力・ブランド力向上等の「海業振興」の両翼を“官民連携”で強化し、「人と物が交流し、活力みなぎる都市型ウォーターフロントの形成」による、枕崎ブランドアイデンティティの「リブランディング」を進めます。





枕崎市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **産業が発展する「稼ぐ力」のあるまち プロジェクト**

持続可能なまちづくりを推進するには地域の「稼ぐ力」を高め、域外からの富の流入と域内の経済循環が必要です。地場産業の飛躍につながる施策と企業誘致や新産業創出支援などを強化し、地域資源のさらなる高付加価値化を図ることで、産業の競争力、成長力の促進や多様な主体の活躍による安定した雇用と所得向上を目指します。

基本目標2 **多くの人とつながるまち プロジェクト**

東シナ海に面し、温暖な気候と自然に恵まれた本市には「枕崎ならでは」の魅力がたくさん詰まっています。産業や観光をはじめとした本市の魅力をさらに磨き、最大限に発信し、多くの人々が本市と多層的につながることで、活気あるまちを実現するとともに、移住定住につながる関係人口の創出を目指します。

基本目標3 **若者や女性に選ばれるまち プロジェクト**

人口減少が進む中、地場産業の維持や様々な生活サービスを持続させていくためには生産年齢人口の増加が必要であり、特に若年層と女性の定着が重要です。若者や女性が住みたいまちとして枕崎市が選択されるよう、多様な働き方で仕事をしやすく、結婚・妊娠・出産・子育てのサポートが充実しているなど、安心して仕事と子育てができ、趣味や余暇を楽しみながら、心豊かに過ごせる生活インフラの整備を目指します。

基本目標4 **多様なひとが安心して暮らせるまち プロジェクト**

多くの人の活躍でまちが賑やかになり、地域経済が活性化することや、移住先・定住の地として「選ばれるまち」になるためには、多様な人が尊重され、安全で快適に住み続けられるまちづくりが必要です。防災体制の強化や環境への配慮などの生活基盤の整備のほか、多様な主体が活躍し、社会参画や自主的に連携して地域を支える活動を促進することで、生活の質を向上させ、住民満足度の高いまちを目指します。

重点プロジェクト１

産業が発展する「稼ぐ力」のあるまち プロジェクト



・水産業、農業、水産加工業などの本市の基幹産業について、持続可能な経営体制を確立するため、後継者の確保に向けた支援を行い、経営基盤の強化を図るとともに、事業の継続と雇用の維持に向けた取組を実施します。
・本市が誇るかつお節などをはじめとした特色のある地場産品について、付加価値の向上や新商品開発、産業におけるDX の取組などに対する支援を行うことで、「枕崎ブランド力」の強化を図るとともに、情報発信や販路拡大など、更なる飛躍に向けた取組を行います。

数値目標 …… 製造品出荷額 **650** 億円（R11）　農業生産額 **100** 億円（R12）
立地協定数 **4** 件（R12）　１人当たり所得金額 **330** 万円（R12）

具体的な **寄附のメリット**

- ●10万円～　感謝状贈呈、広報誌及び市HP への掲載
- ●100万円～　贈呈式開催

重点プロジェクト２

若者や女性に選ばれるまち プロジェクト



・各ライフステージにおいて、安心して生活し、切れ目のないサポートを受けられる環境が整備されていることは極めて重要です。結婚や妊娠を希望する若者が不安を感じずに安心して一歩を踏み出し、人生の選択ができるように経済的支援の他、妊娠や出産に係る健康情報管理、産前産後・育児に係る精神的ケアなどの充実した様々なサポートを行います。
・多様な価値観を尊重する柔軟な働き方の推進や、自己実現を目指す若者の支援、各ライフステージに応じた支援を強化し、魅力的で、過ごしたいまちづくりを行います。

数値目標 …… 婚姻件数 **170** 件（R8～R12）
出生数 **104** 人（R12）
若年層の人口維持 **2,695** 人（R12）

具体的な **寄附のメリット**

- ●10万円～　感謝状贈呈、広報誌及び市HP への掲載
- ●100万円～　贈呈式開催

南九州市

ミナミキュウシュウシ

MINAMIKYUSHU CITY



塗木 弘幸 市長



総人口	30,449人
男	14,479人
女	15,970人
世帯数	16,033世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.5%
15～64歳	47.2%
65歳以上	43.3%

本市はお茶をはじめとした農畜産業が盛んであり、また知覧武家屋敷や川辺摩崖仏、頴娃の釜蓋神社など魅力があふれるまちです。しかし、社会は急速に変化しており，今後より一層時代の流れに即した市政運営が求められております。そこでこれまで以上に魅力ある南九州市とするために，企業版ふるさと納税を通したご支援により地方創生に向けた施策を進めて参りたいと考えております。本市の地方創生に向けた施策について，何卒御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

豊かな自然 活力ある農村
未来に向けて発展する まちづくり

本市では、「茶」や「さつまいも」、「畜産」などで全国でも有数の生産量と質を誇っており、「南の食糧供給基地」として発展を続けていきたいと考えております。そのために、「知覧茶」をはじめとした本市の豊富な農畜産物のブランド化や高付加価値化を積極的に推進し、安心・安全な農畜産物を安定供給できる体制を目指しています。



カテゴリー09 まちづくり

魅力と活力にあふれ にぎわう まちづくり

地域高規格道路である「南薩縦貫道」が全線開通し、鹿児島市中心部や鹿児島空港からのアクセスが向上したことによる地の利を生かして企業立地を推進し、若年層の移住定住を促進していきたいと考えています。また、観光において武家屋敷群などの観光資源を活かした観光ルートづくりを行うなど市の魅力や活力を広く周知することを目指しています。



南九州市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1

「人と人」、「地域と人」が交流し、こころ豊かで魅力あるまち

市民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持ち、地域の将来を支える人材の育成、未来を担う子どもたちへの教育の充実を図るため、地域全体で「ひと」を育てる環境を整え、また、市民との協働を一層推進することにより、地域コミュニティを活性化することを目指す。

基本目標2

安心・安全でいきいきと健康に暮らせるまち

市民の生命や財産を守り、快適な日常生活を支える生活基盤の維持・更新を進めるとともに、地域全体が連携して、防災・防犯等の安全対策に取り組み、安全な暮らしの維持向上を図り、また、医療・福祉・介護各体制を充実させ、健康で快適に暮らし続けることのできる環境づくりを目指す。

基本目標3

地域資源を活かした産業が盛んなまち

本市の基幹産業である農業を核として、商工業の活性化、新たな産業の創出など地域経済を支える産業の振興を図り、さらに本市の地理的な優位性を活かし、観光による消費拡大や外国人観光客の受け入れ体制の強化等の観光振興策を推進するなど地域の活性化を図る。

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催
- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦

重点プロジェクト1

「平和を語り継ぐ都市」の実践



本市では、太平洋戦争末期の陸軍特攻基地が置かれた地であったことから、知覧特攻平和会館が建設され特攻隊員の遺品や関係資料を収集・保存・展示しており、特攻の史実を後世に正しく残す必要があります。知覧特攻平和会館を核として、平和と命の尊さを語り継ぎながら世界の恒久平和に寄与していくなどし、平和を語り継ぐ人材の育成や活用、戦争体験者への取材と記録、資料の収集、保存及び展示を行うなど施設の整備や充実を進めていくことを目指します。

数値目標 …… 平和会館入場者数 **410,000** 人

総事業費 …… **1,004,000** 千円

（地域再生計画による寄附金額の目安を基にしています。）

具体的な **寄附のメリット**

- ●10 万円～　市 HP への掲載
- ●100 万円～　感謝状の贈呈（希望があれば感謝状贈呈式の開催）

重点プロジェクト2

観光の振興



知覧武家屋敷群など全国から多くの観光客が訪れていますが、観る観光から体験する観光へと変化しており、観光客のニーズも多様化しています。また、今後は訪日外国人観光客の増加や障がい者をはじめとした様々な方々が観光を楽しめるようにユニバーサルツーリズムの普及も必要とされています。そこで、観光の更なる魅力の発信をするとともに、新たな観光資源を掘り起こし、市内全域への観光ルート拡大や、農林漁業体験民泊など体験型観光の推進などを進めていきます。

数値目標 …… 市内観光施設の入込み数 **1,000,000** 人

総事業費 …… **1,004,000** 千円

（地域再生計画による寄附金額の目安を基にしています。）

具体的な **寄附のメリット**

- ●10 万円～　市 HP への掲載
- ●100 万円～　感謝状の贈呈（希望があれば感謝状贈呈式の開催）

南さつま市

ミナミサツマシ

MINAMISATSUMA CITY

寄附御礼

- HP掲載（寄附額10万円以上）
- 自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
- 感謝状贈呈（寄附額100万円以上）
- 贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）



本坊 輝雄 市長



総人口	30,351人
男	14,275人
女	16,076人
世帯数	16,424世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	10.67%
15～64歳	47.03%
65歳以上	42.30%

南さつま市は鹿児島県の薩摩半島南西部に位置し、平成17年に1市4町が合併して誕生しました。合併から20年が経過し、人口減少や少子高齢化、地球温暖化等の環境問題、災害の激甚化・頻発化など、本市を取り巻く環境は大きく変化しており、これまで以上のスピード感で課題解決に取り組まなければなりません。本市にゆかりや関心のある企業様からのご寄附を活用し、誰もが主役になれる持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、本市への応援をよろしくお願いいたします。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

ふるさと住民制度の登録活用

観光や仕事、趣味、ボランティアなどで特定の地域に住んでいなくても、その地域と継続的、多様な形で関わりを持つ「ふるさと住民」として、地域の担い手確保や活性化につなげるもので、登録希望者がスマートフォンのアプリで自治体に登録を行い、地域のイベント情報やサポート等を受けることができ、新たなコミュニティとのつながりを深められる制度です。



カテゴリー09 まちづくり

交通空白解消事業

全国的な運転手不足問題として、公共交通が減便される中、市民の移動手段が難しくなっており、交通手段を確保すべく、公共ライドシェア実証による運転手確保の促進および自動運転バスの実証実験に取り組むことで最新技術活用をすることで、地域の交通空白を解消出来るよう努めています。



南さつま市総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **安心で元気あふれるまちづくり**
高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを行うとともに、市民一人ひとりが健康づくりに取り組める、また、子どもを産み育てやすい社会、子どもが伸び伸びと成長できる社会をつくることで、市民の元気があふれるまちづくりを進めます。

基本目標2 **産業おこしで躍動するまちづくり**
基幹産業である農林水産業の振興を図るとともに、観光など地域の特性を活かした分野により交流人口や関係人口を増やし、次世代を担う人材の育成や雇用機会の確保・拡大及び新たな産業の創出・育成を支援することで、にぎわいのある躍動するまちづくりを進めます。

基本目標3 **自然環境と調和した災害に強いまちづくり**
誰もが防災・減災への意識を高め、安全かつ強靭なまちづくりを共に進めるとともに、自然環境の保全や循環型社会、情報通信環境の整備に取り組み、次世代へつなぐ地球にやさしく住みやすいまちづくりを進めます。

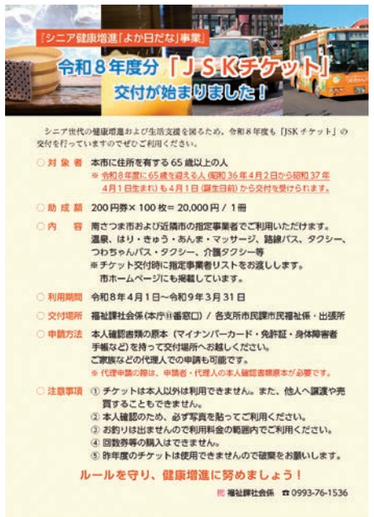
基本目標4 **未来をつくる人と文化を育むまちづくり**
保護者や地域住民が教育活動を支援し、学校運営に参画する地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるとともに、風土と伝統を生かした個性ある文化の継承・創造やスポーツ・レクリエーション等を通した健康増進意欲の向上に取り組み、人と文化を育むまちづくりを進めます。

基本目標5 **多様性が尊重され誰もが共生できるまちづくり**
互いの個性や多様性を認め合い、誰もが社会のあらゆる分野の一員として活躍できる地域コミュニティを育成するとともに、社会の変化や多様化するニーズに柔軟に対応する行政運営、将来にわたって健全な財政経営を構築し、次世代へつなぐ持続可能な共生のまちづくりを進めます。

- その他
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦（寄附額1000万円以上）

重点プロジェクト1

シニア健康増進「よか日だな」事業



シニア世代の健康増進および生活支援を図るため、南さつま市に住所を有する65歳以上の方を対象に南さつま市および近隣市の温泉、はり・きゅう・あんま・マッサージ、路線バス、タクシー、つわちゃんバス（コミュニティバス）・つわちゃんタクシー（乗合タクシー）、介護タクシー等指定事業者を利用できる「JSKチケット」を1人20,000円分交付します。

総事業費 …… 114,075,000 円
昨年実績 …… JSK チケット交付率 66.9 %
JSK チケット使用率 87.8 %

具体的な寄附のメリット

●10万円～	お礼状送付・市HPへの記事掲載・南さつま市報への記事掲載
●100万円～	感謝状贈呈・寄附贈呈式の実施
●300万円～	寄附贈呈式（個別）の実施・南さつま市報への記事掲載（写真付）・市ホームページへの掲載（写真付）

重点プロジェクト2

南さつま飛びたて高校生事業



南さつま市内の高等学校が、それぞれの特徴を活かした魅力ある学校づくりを行い、進学予定の中学生や地域経済界に支持される学校として、維持・発展していくことを目的に実施しています。

総事業費 …… 4,500,000 円
昨年実績 …… 令和７年度事業採択数 13 事業

具体的な寄附のメリット

●10万円～	お礼状送付・市HPへの記事掲載・南さつま市報への記事掲載
●100万円～	感謝状贈呈・寄附贈呈式の実施
●300万円～	寄附贈呈式（個別）の実施・南さつま市報への記事掲載（写真付）・市ホームページへの掲載（写真付）

湧水町

ユウスイチョウ

YUSUI TOWN



池上 滝一 町長



総人口	8,017人
男	3,831人
女	4,186人
世帯数	4,547世帯

〈人口構成比〉

15歳未満	9.2%
15～64歳	43.7%
65歳以上	47.1%

湧水町は、霧島連山の麓に位置し、丸池湧水をはじめとする清らかな水、豊かな自然、実りある田園風景に恵まれたまちです。本町では、これらの地域資源を次世代へつなぎながら、子育て支援、産業振興、移住定住の促進など、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進めています。企業の皆さまの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー01 産業振興・企業誘致

地域資源を活かした産業振興と働く場の創出

人口減少や高齢化により、町内事業者の担い手不足や後継者不足、雇用の場の確保が課題となっています。本町の豊かな水、自然、農林産物、温泉、芸術文化、交通利便性などの地域資源を活かし、民間企業の経営支援、商品開発、販路開拓、デジタル活用、企業誘致等のノウハウを取り入れながら、地域産業の活性化と若者が働き続けられる環境づくりを進めます。



カテゴリー02 過疎対策・移住定住

空き家等を活用した移住・定住促進と住環境整備

本町は交通アクセスに恵まれ、移住・定住の受入体制を整えていますが、若者や移住者、町内企業で働く人がすぐに入居できる住宅が不足しています。空き家や町営住宅等の改修、単身者向け住宅の整備、住宅管理の効率化などに、民間企業の建築・リノベーション・住宅運営・防災・省エネ技術等を活用し、安心して暮らせる住環境の確保を目指します。



湧水町総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 **安心して働き、暮らせるまちづくり**

結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援や、若者・子育て世代が住みやすい居住環境の整備を進め、移住・定住を促進します。また、起業・中小企業支援や企業誘致により働く場を確保するとともに、健康づくりや福祉支援を充実させ、誰もが住み慣れた地域で安心して働き、暮らし続けられるまちを目指します。

基本目標2 **まちのポテンシャルを活かした、付加価値創出型経済の創出**

湧水町の豊かな自然環境を活かし、基幹産業である農林業の振興や新規就農者の確保・育成、特産品の魅力向上に取り組みます。また、「芸術がある町」としての特色を活かしたまちづくりを進め、地域資源に新たな価値を生み出すことで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ります。

基本目標3 **関係人口創出によるまちの活性化**

町内外の人々が集い、交流できる拠点づくりを進め、観光や地域経済の活性化につなげます。吉松駅周辺のまちづくりや観光・交流拠点の整備、町内観光ルートの充実、広域的な観光推進を通じて、湧水町を訪れる人々との交流を深め、継続的に町に関わる関係人口の創出を目指します。

寄附御礼

贈呈式開催（首長出席、寄附額100万円以上）
紺綬褒章推薦
功労者表彰推薦
感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
HP掲載（寄附額10万円以上）
その他
視察受入

重点プロジェクト1

企業の一滴プロジェクト

～水の町 移住・定住環境改善で紡ぐ未来～



本町は交通アクセスの良さを活かし、移住・定住の受入体制を整えています。一方で、若者や移住者向けの即入居可能な住宅が不足しています。民間企業の技術・ノウハウを活用し、空き家等の改修や単身向け住宅整備を進め、安心・快適な住環境づくりと定住率向上を目指します。

総事業費 …… 2 億円

数値目標 …… 令和12年度　宅地分譲地販売件数　（R8）0件/16件→7件/16件

令和12年度　空き家数　（R8）881件→790件

具体的な寄附のメリット

- 10 万円～
  - ・感謝状贈呈（ご希望に応じて感謝状贈呈式を開催いたします。）
  - ・ホームページに企業情報（企業名、ホームページリンク、企業ロゴ等）を記載
  - ・広報ゆうすいに「企業名」を掲載
- 100 万円～
  - ・報道機関へのプレスリリース　・感謝状贈呈式開催
  - ・ホームページに企業情報（企業名、ホームページリンク、企業ロゴ等）を記載
  - ・広報ゆうすいに「企業名・感謝状贈呈式」を掲載
- 【ハード事業】
  - 対象施設に企業のネームプレート等を設置

重点プロジェクト2

関係人口創出によるまちの活性化事業

観光・交流拠点整備事業



丸池公園、竹中池公園などの水資源を活かした観光地や町内交流施設の整備を進め、町内外の人々が集い、交流できる拠点づくりを推進します。観光客や関係人口の増加を図るとともに、地域コミュニティの活性化や町内消費の拡大につなげます。

総事業費 …… 8 千万円

数値目標 …… 令和 12 年度　交流人口の増加　（R8）550,000 人→600,000 人

具体的な寄附のメリット

- 10 万円～
  - ・感謝状贈呈（ご希望に応じて感謝状贈呈式を開催いたします。）
  - ・ホームページに企業情報（企業名、ホームページリンク、企業ロゴ等）を記載
  - ・広報ゆうすいに「企業名」を掲載
- 100 万円～
  - ・報道機関へのプレスリリース　・感謝状贈呈式開催
  - ・ホームページに企業情報（企業名、ホームページリンク、企業ロゴ等）を記載
  - ・広報ゆうすいに「企業名・感謝状贈呈式」を掲載

和泊町

ワドマリチョウ

WADOMARI TOWN



前 登志朗 町長



総人口 5,763人
男 2,903人
女 2,860人
世帯数 3,192世帯

〈人口構成比〉
15歳未満 12.5%
15～64歳 47.9%
65歳以上 39.6%

和泊町は、鹿児島県南端の沖永良部島に位置し、豊かな自然と人情が魅力の町です。一方で、人口減少や地域産業の担い手不足など、さまざまな課題に直面しています。これらの課題を乗り越え、持続可能なまちづくりを実現するためには、企業の皆様との連携が欠かせません。本プロジェクト集では、和泊町地域再生計画の基本目標に基づき、「仕事づくり」「交流人口増加」「子育て環境づくり」「健康で安心安全な地域づくり」を目指す事業を掲載します。未来を共に創るパートナーとして、本町の取組にご賛同いただき、温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリー03 地域活性化

空き店舗・空き家を活用した創業支援

空き店舗・空き家を活用した創業・開業支援を進めるため、事業計画策定、店舗デザイン、収益化支援、デジタル集客などのノウハウを有する企業との連携を求めています。



カテゴリー06 観光客の誘致・地域PR

交流人口の拡大と地域の魅力向上

和泊町の自然や文化、特産品などの地域資源を活かし、交流人口の拡大と地域活性化を目指しています。観光DX、デジタルマーケティング、特産品のブランド化・販路開拓、観光コンテンツの造成などのノウハウを有する企業との連携を求めています。



和泊町総合振興計画（重点プロジェクト）

基本目標1 地域資源をフル活用し、安定した仕事をつくる

本町では、地域資源を活用し、持続可能な社会づくりを目指した事業を展開しています。家庭菜園の普及による地産地消の推進や、農業体験を通じた次世代の農業人材育成を行い、災害時に備えた食料自給率の向上を目指します。漁業分野では高鮮度処理技術等の普及を進め、地域ブランドの信頼性向上に取り組むとともに、農業分野では、農薬や化学肥料を抑えた安全な作物栽培を促進します。商工分野では、商工会と連携して空き店舗・空き家を活用し、若い世代の起業や開業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

基本目標2 国内外からの交流人口の増加を目指す

島内の団体（観光協会等）との交流イベントやオンラインでの島外若者との連携を進め、若者の就業・起業支援、仕事紹介、移住促進活動や環境整備に取り組むとともに、観光協会の育成支援や特産品の販路拡大、観光業のDX推進、ジョギング大会などの誘客イベントを実施します。

基本目標3 安心・夢・ゆとりのある子育て環境づくりを目指す

地域の活性化と子どもたちの未来を支えるため、島の魅力や課題解決、最先端技術を学ぶイベントや公営塾の運営を行うとともに、子育て関連のイベントやセミナーを開催します。また、子ども家庭センターの設立や子育て支援アプリの導入を通じて、家庭全体をサポートし、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

基本目標4 町民みんなが健康で、安心安全、自立した地域づくりを目指す

本町では、健康増進と環境負荷の低減を目指すため、自転車利用を通して、町民や観光客へ町の自然を楽しむ移動手段を提供し、心豊かな時間を創出します。また、健康増進施設の補修やスタッフの研修により利用者の満足度及び健康増進度の向上を図ります。住宅確保が難しい人々への支援として、賃貸物件情報の提供や家賃債務保証の導入等を進めます。ごみの排出抑制についても、適正処理の啓発活動を強化してまいります。

寄附御礼

贈呈式開催（寄附額100万円以上）
感謝状贈呈（寄附額10万円以上）
自治体広報誌掲載（寄附額10万円以上）
HP掲載（寄附額10万円以上）

その他
視察受入
功労者表彰推薦
紺綬褒章推薦

重点プロジェクト1

まちゅんどプロジェクト

～島のこどもたちに学びの機会を提供し、将来の選択肢を広げる～



島の方言で「まちゅんど」（待ってます・歓迎します）の精神に基づき、若者のUターンや関係人口増加を目指すものです。主な事業内容は、郷土学を通じた島の歴史・文化・自然の学習機会提供や、若者が島に戻りたくなる「場所づくり」です。具体的には、公営塾の運営、子育て関連イベントやセミナーの開催、子ども家庭センターの設立、子育て支援アプリの導入などを通じ、子育て環境の充実と移住・定住促進、交流人口の増加を図ります。

総事業費 …… 5,145千円

数値目標 …… Uターン者数（年間）105人 → 150人

具体的な寄附のメリット

- ●10万円～ 感謝状贈呈（ご希望の場合）・町HP及び広報誌への掲載
- ●100万円～ 贈呈式開催

重点プロジェクト2

むぅるほうらしゃプロジェクト

～自転車まちづくり～



自転車レーンの設置等、自転車を利用しやすい交通環境づくりを行い自転車の活用を推進することで町民の健康増進を図るとともに、車から自転車への移動手段の移行による環境負荷の低減を図ります。また観光客の移動手段の選択肢を増やし、観光で街を訪れる人も、この町に住む町民も、今まで見過ごしていた町の景色や自然に目を向け、ゆっくり町を移動することで、心豊かな空間と時間を創出します。

総事業費 …… 2,399千円

数値目標 …… 自転車利用によるCO_2排出削減量 163kg

具体的な寄附のメリット

- ●10万円～ 感謝状贈呈（ご希望の場合）・町HP及び広報誌への掲載
- ●100万円～ 贈呈式開催

企業版ふるさと一番　寄附手順 1

STEP 1　会員登録-1

1 https://furusato.yoka-mall.com/companies へアクセスし、「会員登録」をクリックしてください。



2 法人情報登録画面へ遷移するので、法人名欄に御社名（全部もしくは一部）を入力し、右側の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。



3 国税庁の情報をもとに検索結果が表示されますので、御社に該当する行をクリックしてください。



STEP 1　会員登録-2

4 「法人番号」等が自動で入力されます。自動入力されない「代表者名」「電話番号」「事業内容」を追加で入力してください。



5 担当者情報を入力し、「利用規約」「個人情報保護方針」を確認のうえ、問題なければ登録ボタンをクリックしてください。



6 登録完了画面へ遷移し、
会員登録完了メールが
登録メールアドレス宛に届きます。

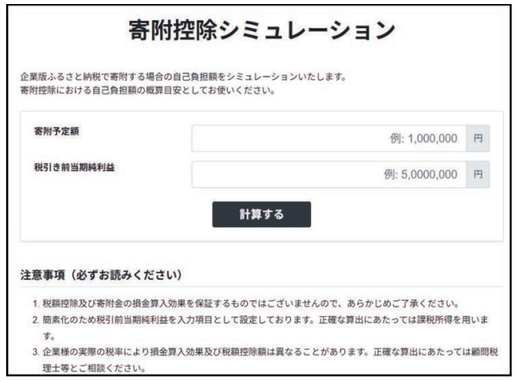
会員登録完了メール



企業版ふるさと一番　寄附手順 2

STEP 2　寄附申請

1 トップ画面の「寄附控除シミュレーション」で自己負担額の概算目安を確認できます。



2 「プロジェクトをみる」「自治体一覧をみる」からプロジェクトを選べます。



3 支援するプロジェクトを選び「このプロジェクトを支援する」をクリック。



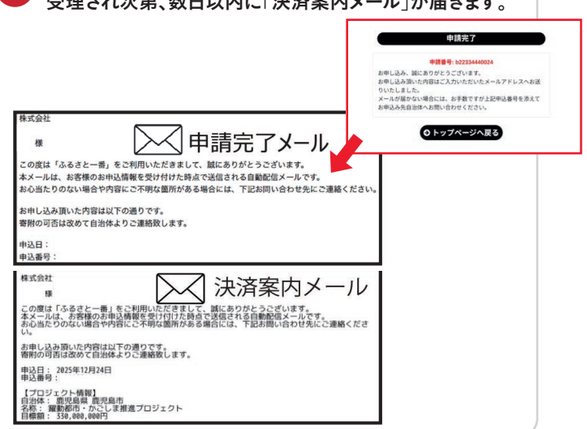
4 寄附申請画面で寄附額等を入力し「内容確認」をクリック。



5 内容に問題なければ「申請」をクリックしてください。

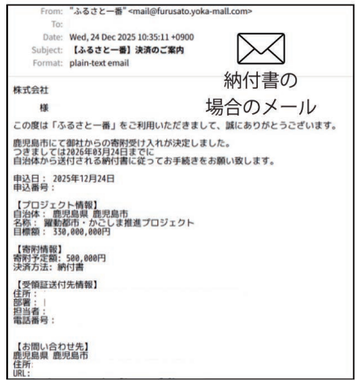


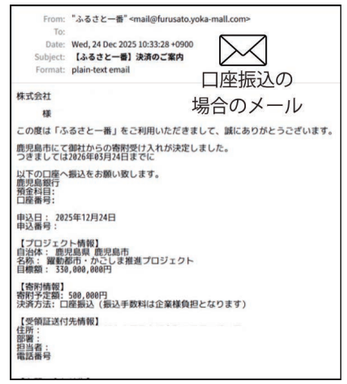
6 申請完了画面へ遷移し「申請完了メール」が届きます。
受理され次第、数日以内に「決済案内メール」が届きます。



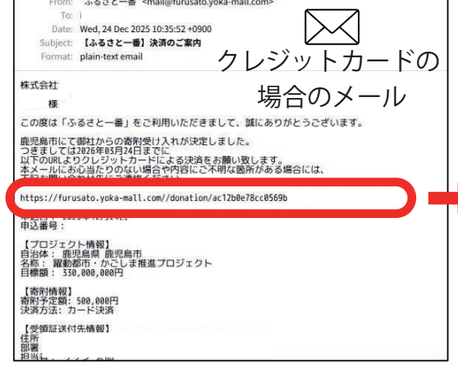
STEP 3　決済

1 受理され次第「決済案内メール」が届きます。申請時に選択した決済方法に応じたメールが届きます
（各メールの種類は画像内の表記をご参照ください）。



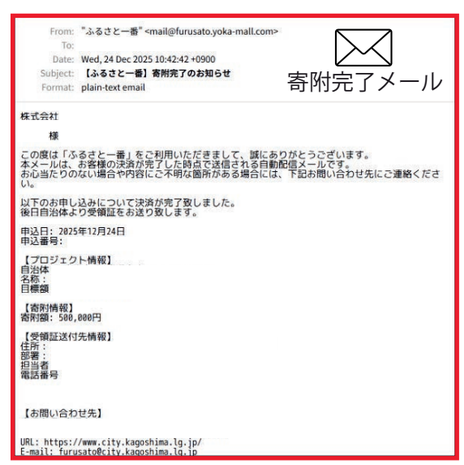


2 決済方法がクレジットカードの場合は、メール記載の決済用URLより決済が可能です。





3 いずれかの方法で決済すると寄附完了です。
後日、自治体から寄附受領証明書が送られます。
（クレジットカード決済を行った場合のみ「寄附完了メール」が届きます）



MEMO

- 自分に何かあったときに、後継者にスムーズに自社株を引き継げるように準備しておきたい
- 株価が低い今のうちに後継者へ自社株を贈与したいが、当面は経営に関わっておきたい
- 経営の空白が起こらないよう、事業承継に関する最低限の準備はしておきたい



＼ 詳しくはこちら ／



そのお悩み、「事業承継信託」にお任せください！

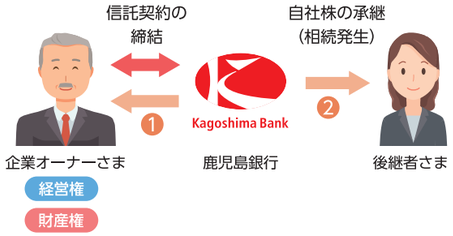
「事業承継信託」は、信託の機能を活用して、自社株の円滑な承継をサポートいたします

ニーズに応じて2つのタイプから選べます

企業オーナーさまに
相続が発生した際の経営の空白期間や
自社株の分散を防ぎたい方、等

遺言代用タイプ

企業オーナーさまに相続が発生した場合、あらかじめ指定しておいた後継者さまに自社株をスムーズに承継できます。



❶信託期間中、企業オーナーさまが議決権を行使します。
❷相続が発生した際に、遺産分割協議を経ることなくスムーズに後継者さまへ自社株を承継できます。

「自社株」を後継者さまへ承継したいが、
「経営」の承継はもう少し先でよいと
お考えの方、等

生前贈与タイプ

会社の経営権（自社株の議決権）は引き続き企業オーナーさまに留保したまま、自社株を承継できます。



❶信託期間中、企業オーナーさまが議決権を行使します。
❷財産権（信託受益権）は後継者さまへ贈与します。

ご留意事項
- 税務上のお取扱については、事前に顧問税理士・所轄税務署等にご確認ください。
- 本商品は、所定の手数料等がかかります。詳しくは、各本支店の窓口までお問合せください。

Kagoshima Bank はじめよう、あたらしいコト。 鹿児島銀行

九州フィナンシャルグループ

2026年度



かごしま

企業版ふるさと納税対象プロジェクト集

KAGOSHIMA CORPORATE DONATION PROGRAM 2026



鹿児島銀行
Kagoshima Bank

（お問い合わせ）
鹿児島銀行 地域支援部 地域コンサルティング室
〒892-0828 鹿児島市金生町6番6号
TEL：099-239-9718（直通）/FAX：099-223-0852
E-mail：kaihatsu@ml.kagin.co.jp